

# 洪水ハザードマップ

## 説明・使い方

～観音川版～

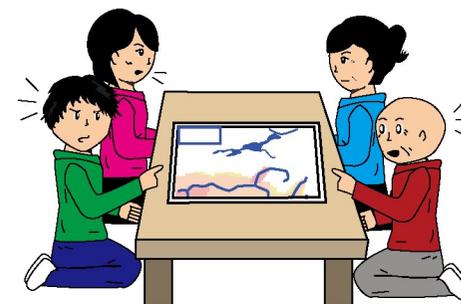


あわら市 建設課

# 目次



近年の災害について . . . . P3



マップの構成について . . . . P6

洪水シミュレーションについて . . . . P8



マップの使い方について . . . . P15

表紙 . . . . P17

①家庭での学習 . . . . P20

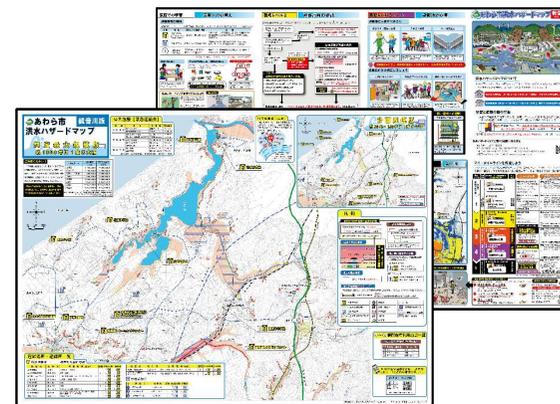
②警戒レベル1 . . . . P28

③警戒レベル2 . . . . P32

④警戒レベル3~4 . . . . P38

⑤警戒レベル5 . . . . P40

⑥マイ・タイムライン . . . . P46



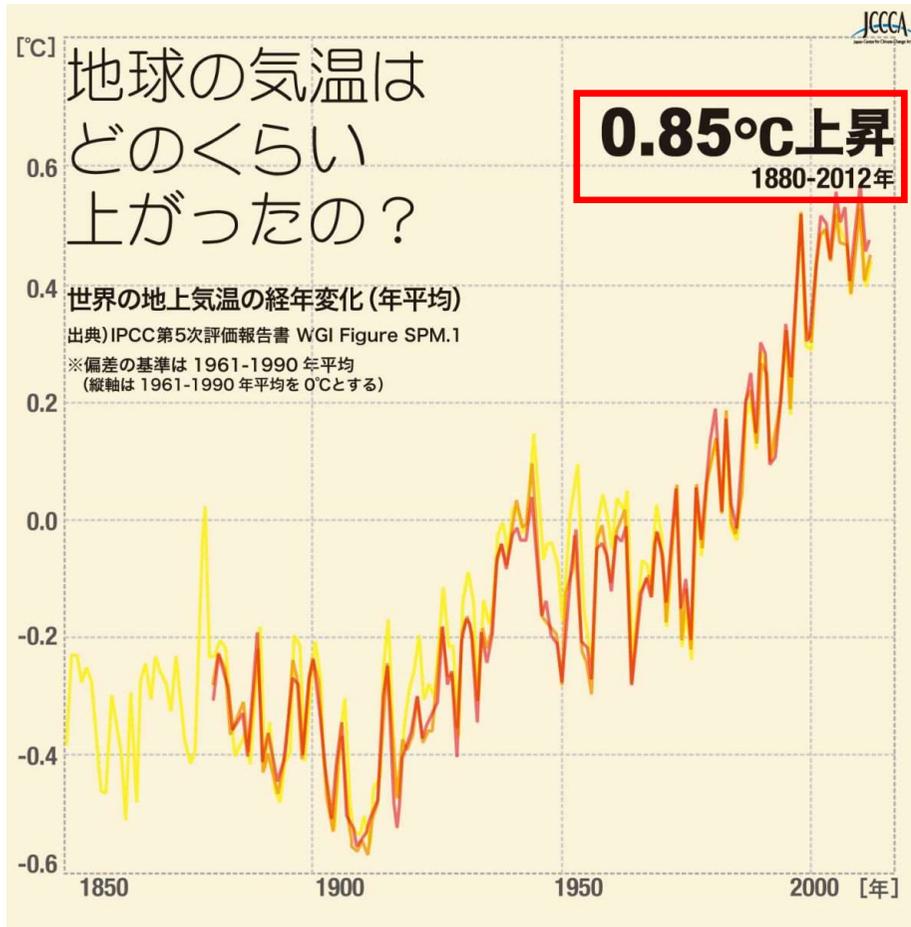


# 近年の災害について

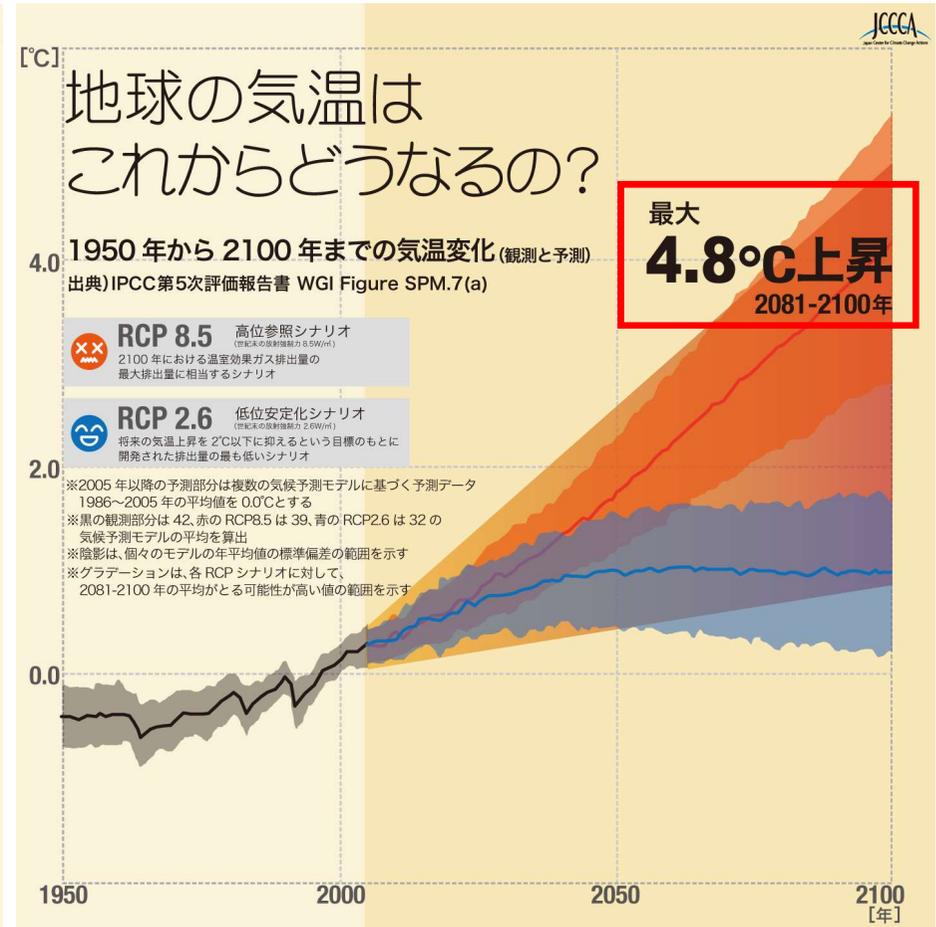
# 地球温暖化の状況



## 温室効果ガス排出量の増加により地球温暖化が進行



これまで

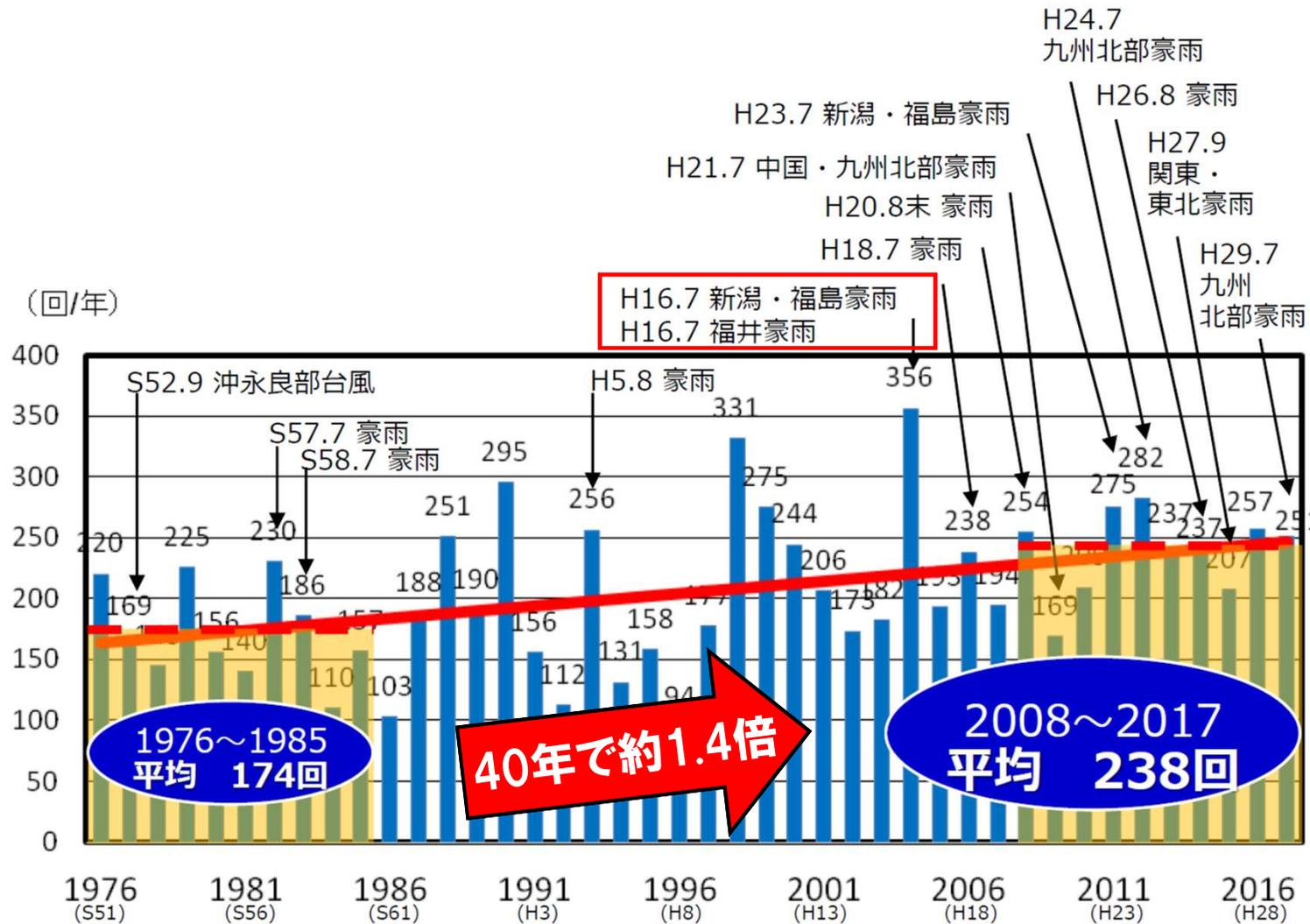


これから

# 自然災害の状況



## 地球温暖化等の要因により豪雨災害が多発



近年では多くの死者・行方不明者を伴う豪雨災害も発生

平成30年7月 豪雨 (西日本豪雨)  
死者・行方不明者 **245名**

令和2年7月 豪雨 (九州地方)  
死者・行方不明者 **81名**



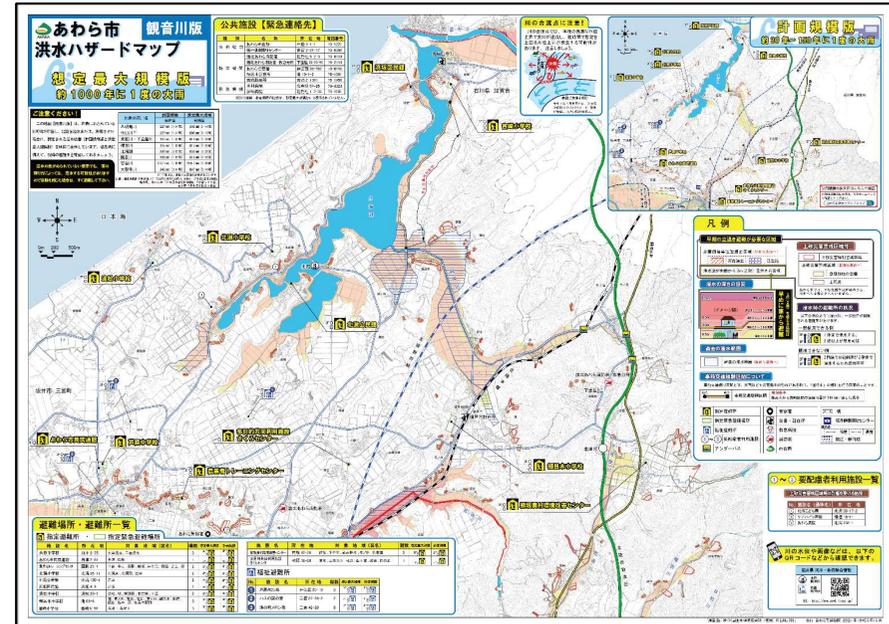
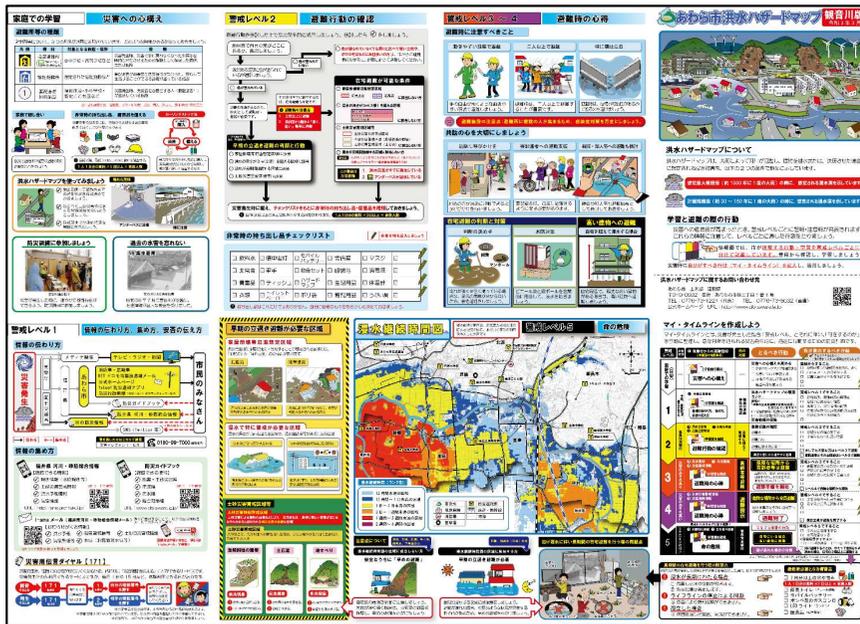
# マップの構成について

# マップの構成について



## 表 学習面

## 裏 地図面



**目的** 災害発生前

**目的** 災害発生時

日頃から時間をかけて学習

短時間で確認して避難

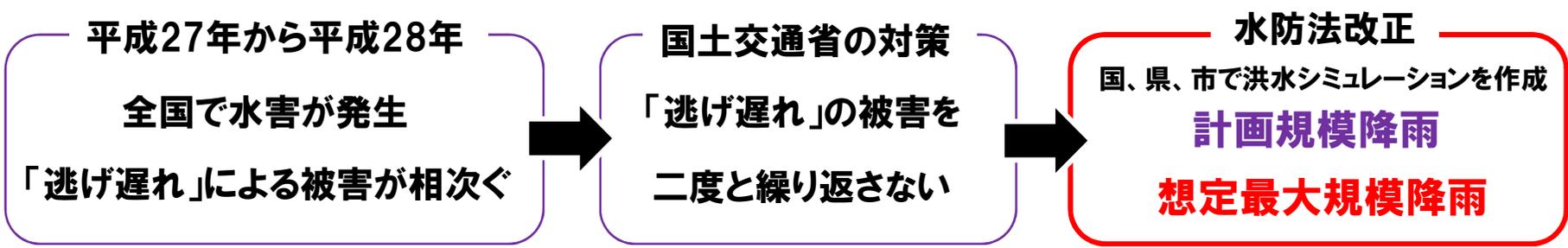


# 洪水シミュレーションについて

# 洪水シミュレーション作成の目的



平成27年の「水防法の改正」により、平成29年～令和2年の間に洪水シミュレーションを新しく作成



## 計画規模降雨

「約50年に1度」  
大雨が降った時に起こる水害

出典：福井県「洪水浸水想定区域図」「水害リスク図」

## 想定最大規模降雨

「約1000年に1度」  
大雨が降った時に起こる水害

出典：福井県「洪水浸水想定区域図」「水害リスク図」

# 洪水ハザードマップ改定の目的

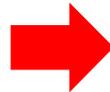


## 水防法改正

国、県、市で洪水シミュレーションを作成

計画規模降雨

想定最大規模降雨

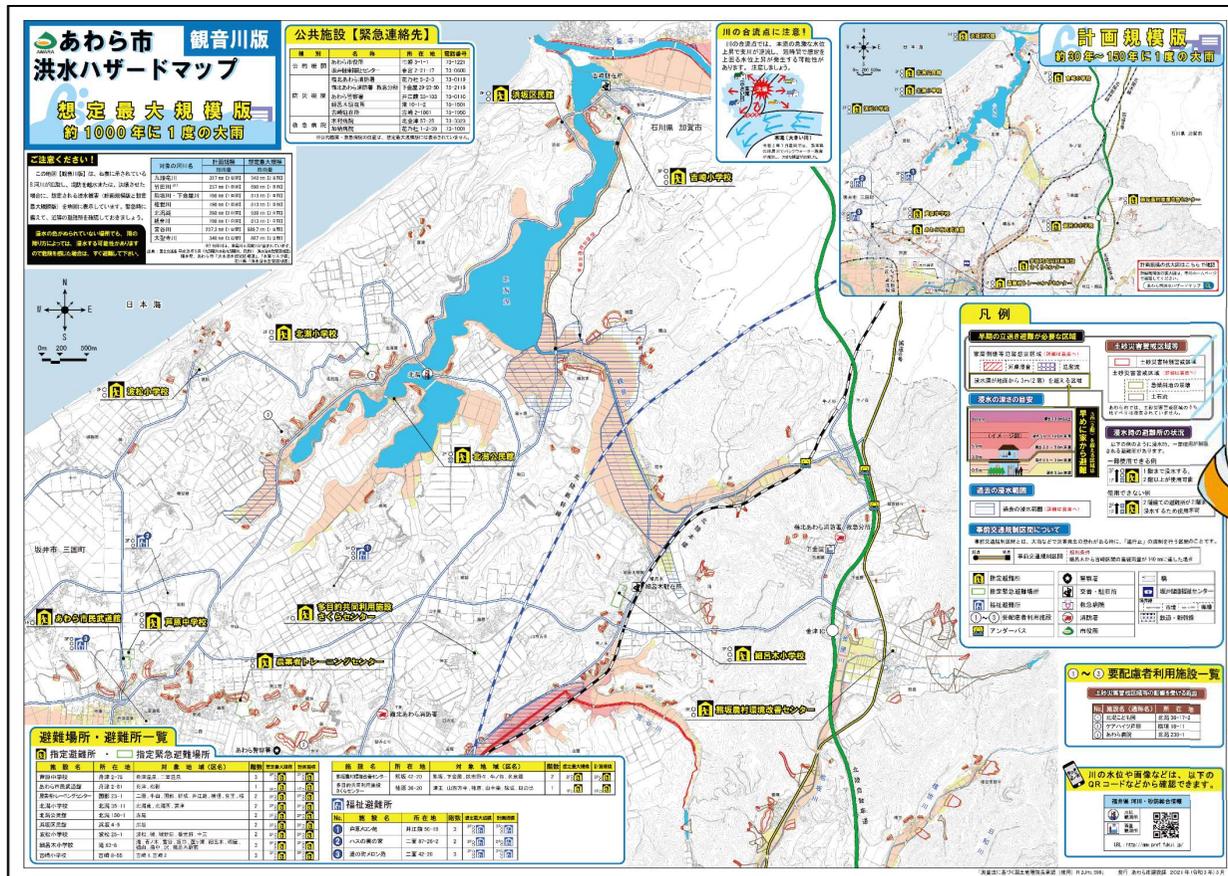


## 洪水ハザードマップの改定

想定最大規模降雨の洪水ハザードマップを作成

洪水被害が発生した時を想定

事前に早めの避難と予防

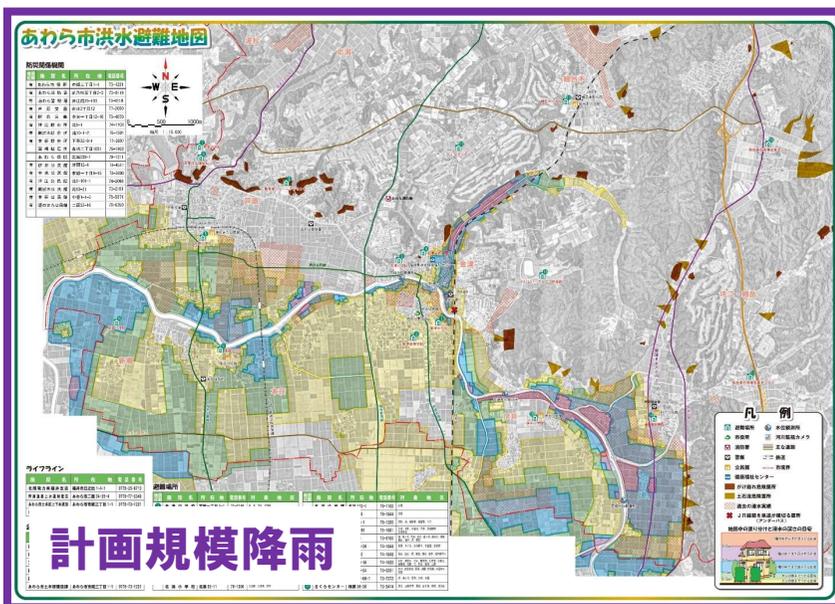


防災意識の向上

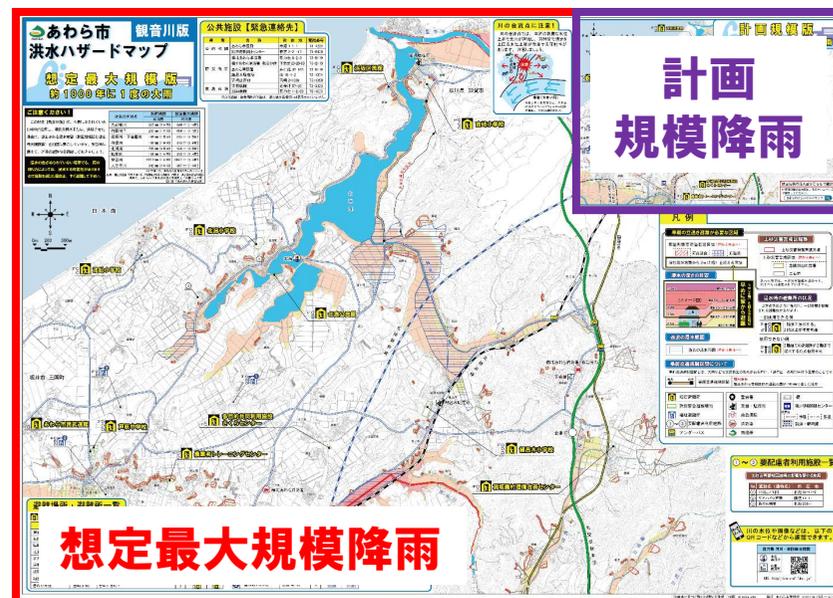
# 前回の洪水避難地図との違い



掲載図面の変更→「**拡大図：想定最大規模降雨**」「**縮小図：計画規模降雨**」



前回のマップ

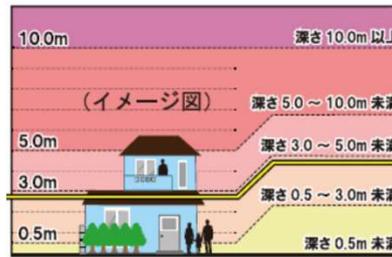


今回のマップ

浸水深の配色としきい値を変更（国土交通省が指定）



前回の浸水深



今回の浸水深

- ・色弱者に対応した色
- ・一般的な建物の高さに対応した浸水時の深さ

# 想定最大規模降雨とは？



## 過去に観測された最大の降雨量

最大の降雨量は、降雨の特性が類似している15の地域に分けて設定



出典：浸水想定（洪水、内水）の作成等のための  
想定最大外力の設定手法 平成27年7月

福井県の河川は、北陸地域で観測された最大の降雨量を使用

## 計画規模降雨とは

河川形態ごとに想定される被害規模に応じて設定された、河川整備を行う時に使用する降雨量

# 洪水シミュレーションの解析



## 計画規模降雨

1日で約〇〇mm降る

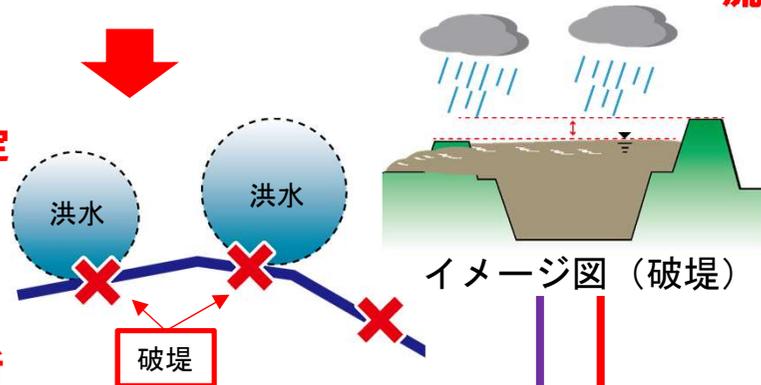
竹田川本川が整備された  
計画規模の降雨量を算出

過去の水害時の実績降雨を基に  
時間毎の降雨量を算出

時間毎の流出量を算出  
流出量 = 河川に集まってくる水の量

破堤箇所を設定

地形から水の  
広がり方を解析



## 想定最大規模降雨

北陸地域で観測した最大の降雨量

この面積だと1日で約〇〇mm降る

各河川の最大の降雨量を算出

「想定される最大降雨量を河川の流域面積から算出」<sup>※1</sup>

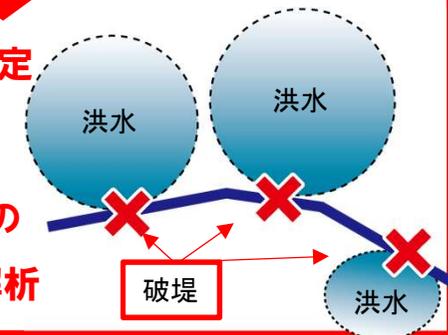
※1国土交通省が算出した結果

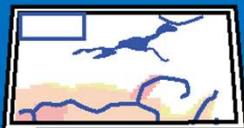
過去の水害時の実績降雨を基に  
時間毎の降雨量を算出

時間毎の流出量を算出  
流出量 = 河川に集まってくる水の量

破堤箇所を設定

地形から水の  
広がり方を解析





# ハザードマップの作成



国、県、市で作成された浸水のデータを基にハザードマップを作成

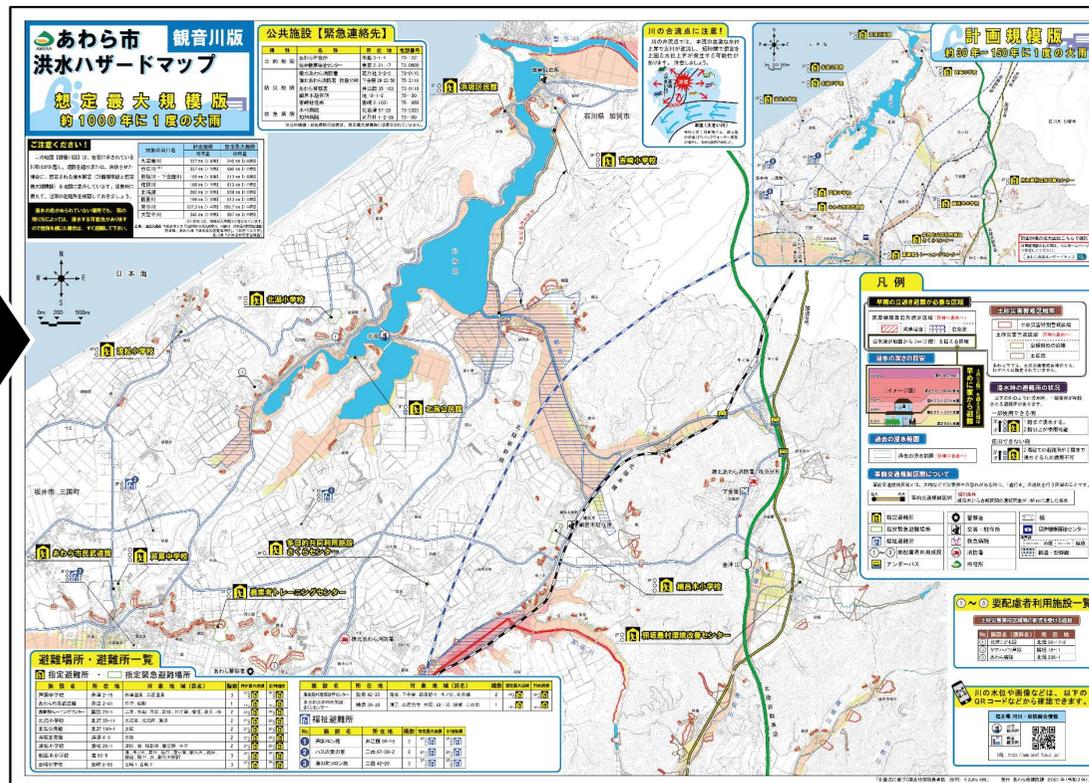
## あわら市（観音川版）に 洪水が入ってくる河川

対象の河川名	計画規模	想定最大規模
	総雨量	総雨量
九頭竜川	327 mm【2日間】	540 mm【2日間】
竹田川※ <sup>1</sup>	237 mm【1日間】	690 mm【1日間】
熊坂川・下金屋川	198 mm【1日間】	813 mm【1日間】
権世川	198 mm【1日間】	813 mm【1日間】
北潟湖	280 mm【2日間】	938 mm【2日間】
観音川	198 mm【1日間】	813 mm【1日間】
宮谷川	237.3 mm【1日間】	689.7 mm【1日間】
大聖寺川	340 mm【2日間】	867 mm【2日間】

※<sup>1</sup> 竹田川は、田島川と高間川が含まれています。

### 注意

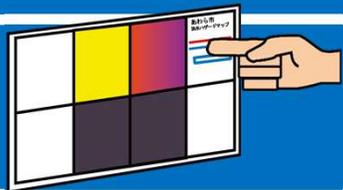
雨の降り方によっては、  
塗られてない場所が  
浸水する可能性がある



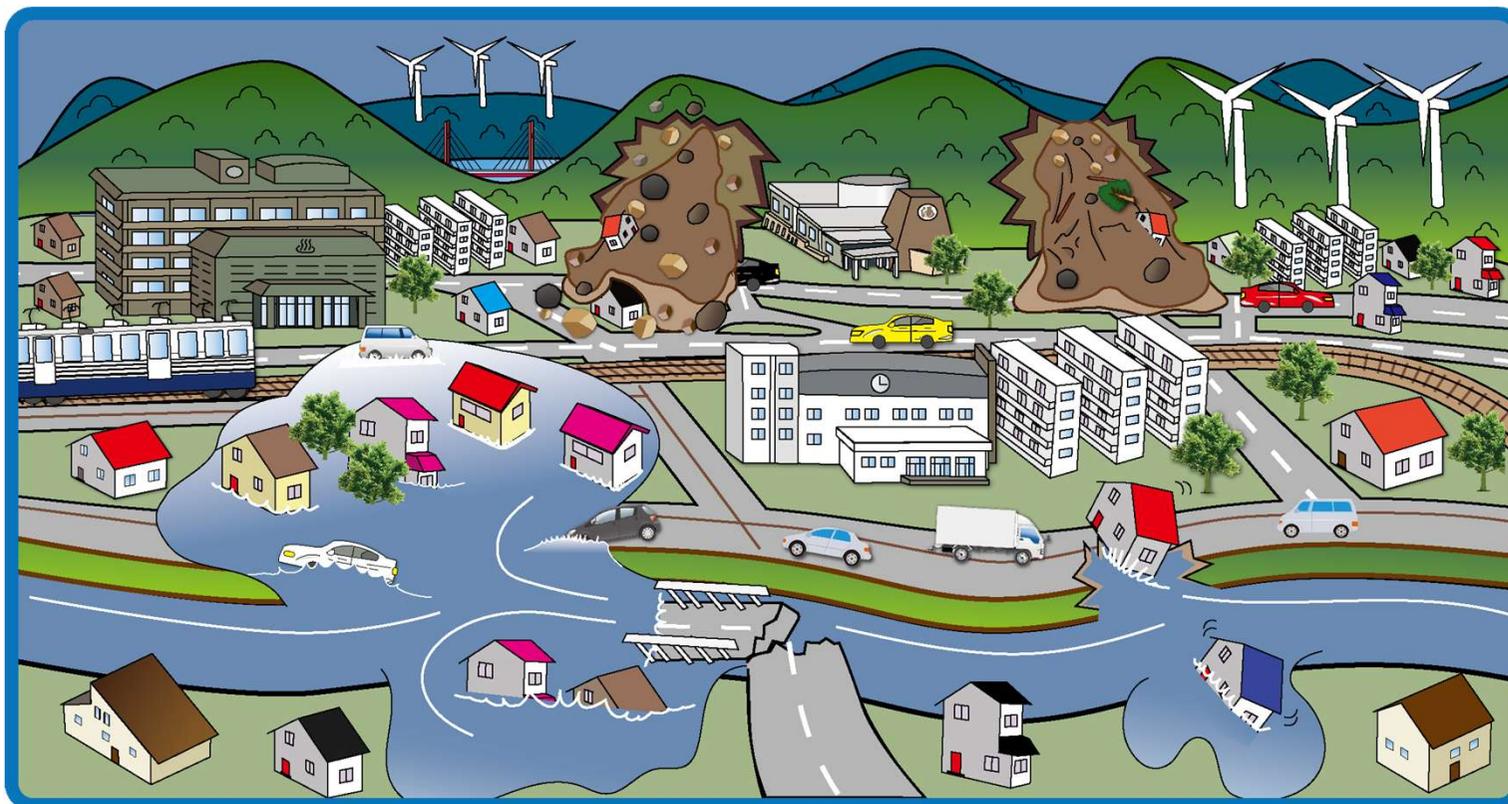
活用するためには、マップの使い方を学習することが必須



# マップの使い方について

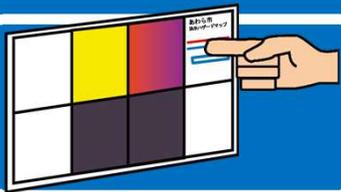


# マップの使い方について



**こうなってからでは手遅れ  
⇒災害が発生する前から学習**

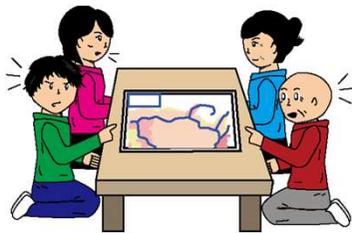
			<h1>表紙</h1>



# 警戒レベルについて～表紙～



災害の危険が迫ると気象庁や市から警戒レベルが発表



普段から学習する



災害に備える



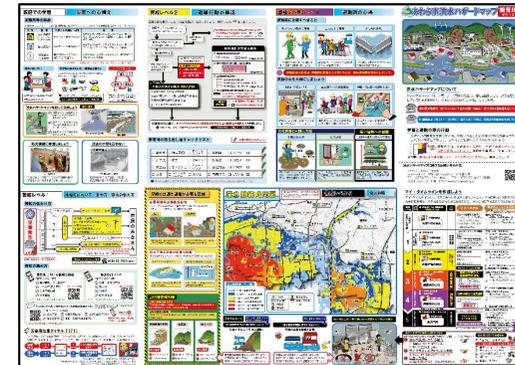
避難する



災害発生

警戒レベル	災害状況	① 気象庁からの避難情報 【学習面の確認事項】	市の対応
家庭での学習 (日常)	—	学習面を確認 災害への心構え	—
1	今後、気象状況悪化の恐れ	① 早期注意情報 学習面を確認 情報の伝わり方、集め方、安否の伝え方	職員の確認
2	気象状況悪化	① 洪水注意報 ① 大雨注意報 ① 氾濫注意情報 学習面を確認 避難行動の確認	警戒する
3	災害のおそれあり	① 洪水警報 ① 大雨警報 ① 氾濫警戒情報 学習面を確認 避難時の心得	高齢者等避難
4	災害のおそれ高い	① 土砂災害警戒情報 ① 氾濫危険情報 学習面を確認 避難時の心得	避難指示
5	災害発生又は切迫	① 大雨特別警報 ① 氾濫発生情報 学習面を確認 命の危険	緊急安全確保

警戒レベル発表時に適した行動がとれるように作成



見方

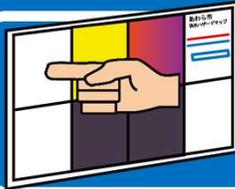




# ① 家庭での学習～日常～



①			



# 家庭での学習～災害への心構え～



## 家庭での学習

## 災害への心構え

### 避難所等の種類

避難所等について、3つの凡例が地図に表記されています。どのような機能があるか覚えておきましょう。

凡例	種別	対象となる施設・場所	役割
	指定避難所 (で囲われた範囲 指定緊急避難場所)	小中学校・高等学校など	災害発生時、災害で家に戻れなくなった市民等を一時的に滞在させるための施設として指定した場所、または施設
	福祉避難所	指定された福祉施設など	要配慮者が必要な生活支援等が受けられ、安心して生活することができる設備が整っている施設
①	要配慮者利用施設	福祉施設・小中学校・認定こども園など	災害発生時、支援者を必要とする人(要配慮者*)が生活している施設

\*1 要配慮者とは、高齢者、子供・乳幼児、妊婦、病人、外国人、身体障がい者のこと

### 家族で話し合い



家族で避難所の確認や避難の際に必要なことを話し合う

### 非常時の持ち出し品、備蓄品を備える

災害を乗り越えるには、普段から衣類や非常食等を備えておくことが重要となります。



① 避難の際、最低3日以上の水と食料を備蓄する  
1人1日分の食料 × 3日以上 × 家族人数

### ローリングストック法



普段から食料を少し多めに購入し、消費期限が近いものから消費し、また買い足して備蓄する方法

### 洪水ハザードマップを使ってみましょう

- ① 地図を使って避難所までの避難経路を複数決めておきましょう。
- ② なるべく土砂災害や浸水する経路は避けないようにしましょう。
- ③ 避難所までの避難経路を実際に歩きましょう。

### 隠れた危険



### 防災訓練に参加しましょう



防災訓練の様子  
災害が発生した時に、速やかに避難行動ができるよう、防災訓練に参加しましょう。

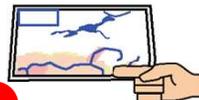
### 過去の水害を忘れない



56 集中豪雨  
富谷川による洪水被害  
昭和56年7月に宮谷川が氾濫し、旧金津町が甚大な被害を受けました。

## 避難所等の種類について

凡例	種別	役割
	指定避難所 (で囲われた範囲 指定緊急避難場所)	災害発生時、災害で家に戻れなくなった市民等を一時的に滞在させるための施設として指定した場所、または施設
	福祉避難所	要配慮者が必要な生活支援等が受けられ、安心して生活することができる設備が整っている施設



地図（避難場所・避難所一覧）を確認

①

まずは、体の不自由な方も指定避難所に避難

②

次に

市職員から福祉避難所への避難指示を受けた方は、福祉避難所に避難



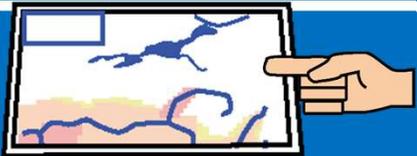
対象地域の避難所は…あわら市民武道館の場合

施設名	所在地	対象地域(区名)	階数
芦原中学校	舟津 2-75	舟津温泉, 二面温泉	3
あわら市民武道館	舟津 2-81	舟津, 松影	1

最初は、一時避難所(区民館等)に避難

次に、指定避難所への避難ですが…

対象地域外の指定避難所も選択が可能



# 家庭での学習～災害への心構え～



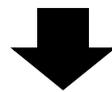
## 浸水時に避難所の使用可能な階数について



地図（凡例）を確認

## 「計画規模降雨」と「想定最大規模降雨」

### 浸水深が変化



### 一部の避難所が制限

一部使用できる例

3F ↑ ○		1階まで浸水する。
1F ↑ ×		2階以上が使用可能



その階が浸水しないので  
避難所として使用できる

使用できない例

2F ↑ ×		2階建ての避難所が2階まで
1F ↑ ×		浸水するため使用不可

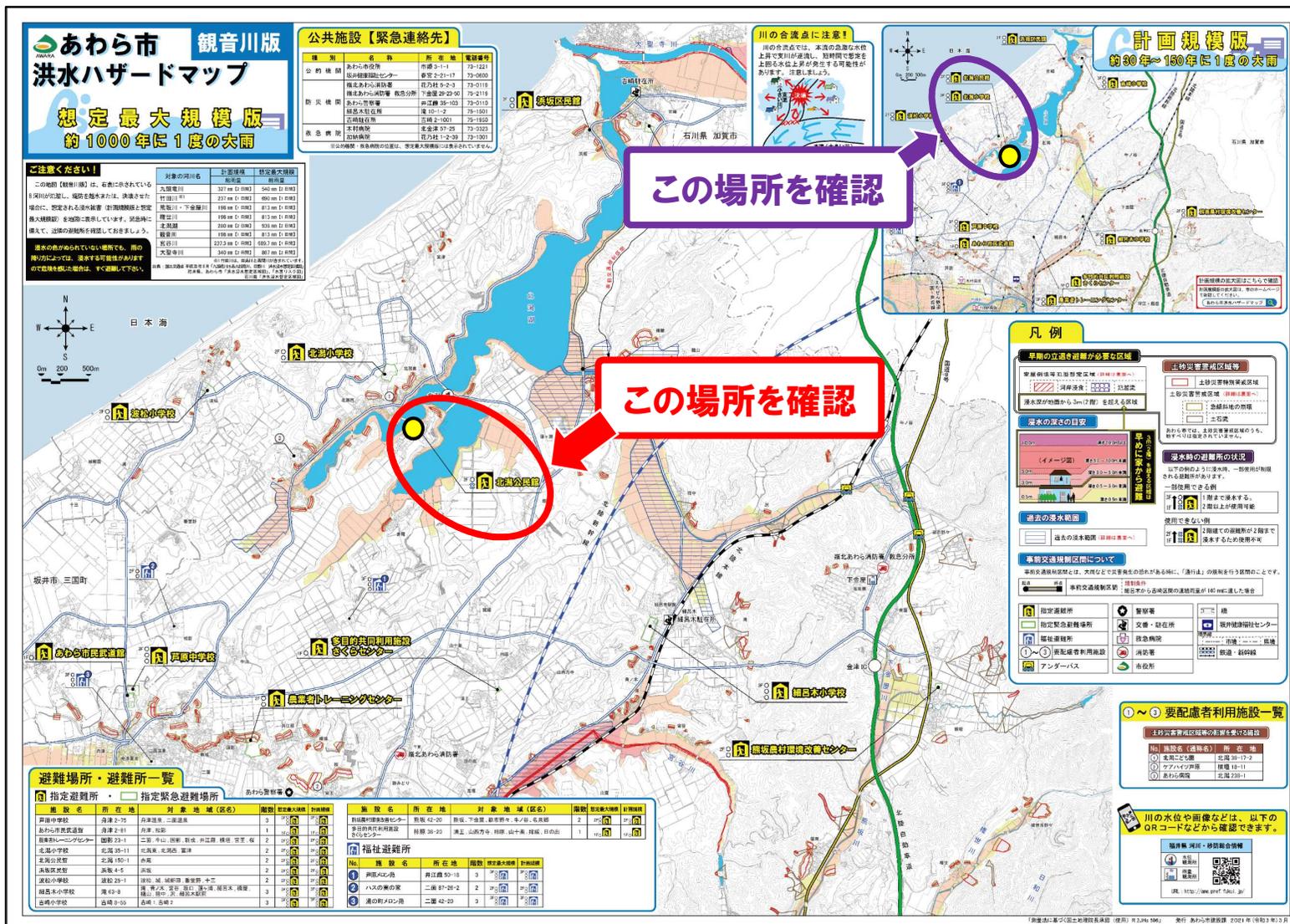


浸水の状況に応じて避難所として  
使用可能かどうか検討を要する

# 浸水時に避難所の使用可能な階数について



## 北潟公民館 (対象地域：赤尾)



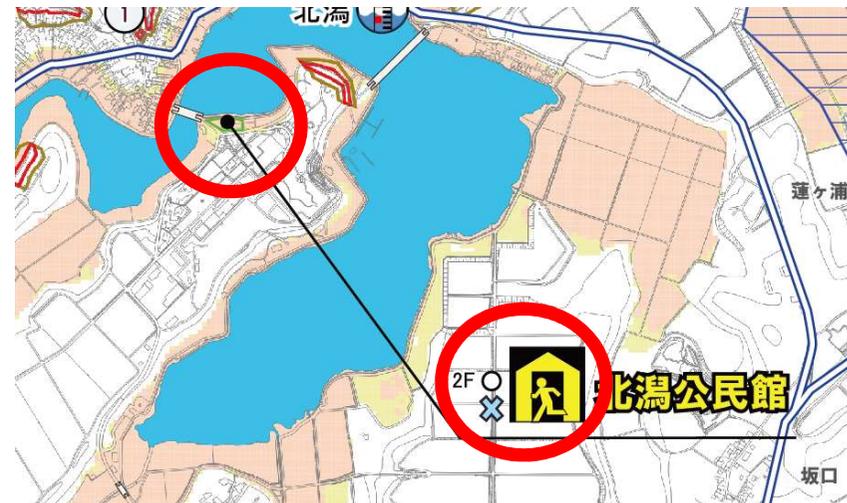
# 浸水時に避難所の使用可能な階数について



## 北潟公民館（対象地域：赤尾）



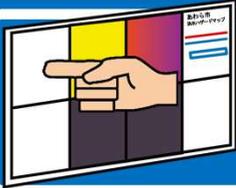
計画規模降雨



想定最大規模降雨

**浸水のない階に避難することが必要**

想定最大規模降雨の場合) 1階が浸水するため2階以上に避難



# 家庭での学習～災害への心構え～



## 家庭での学習

## 災害への心構え

### 避難所等の種類

避難所等について、3つの凡例が地図に表記されています。どのような機能があるか覚えておきましょう。

凡例	種別	対象となる施設・場所	役割
	指定避難所 (指定緊急避難場所)	小中学校・高等学校など	災害発生時、災害で家に戻れなくなった市民等を一時的に滞在させるための施設として指定した場所、または施設
	福祉避難所	指定された福祉施設など	要配慮者が必要な生活支援等が受けられ、安心して生活することができる設備が整っている施設
①	要配慮者 利用施設	福祉施設・小中学校・ 認定こども園など	災害発生時、支援者を必要とする人(要配慮者※1)が生活している施設

※1 要配慮者とは、高齢者、子供・乳幼児、妊婦、病人、外国人、身体障がい者のこと

## 要配慮者利用施設について

凡例	種別	役割
①	要配慮者 利用施設	災害発生時、支援者を必要とする人(要配慮者※1)が生活している施設

## 「要配慮者」とは？

高齢者、子供・乳幼児、妊婦、病人、外人、  
身体障がい者など、特に配慮を要する者



出典：内閣府 災害対策基本法 平成25年6月

### 家族で話し合い



家族で避難所の確認や避難の際に必要なことを話し合う

### 非常時の持ち出し品、備蓄品を備える

災害を乗り越えるには、普段から衣類や非常食等を備えておくことが重要となります。



① 避難の際、最低3日以上の水と食料を備蓄する  
1人1日分の食料 × 3日以上 × 家族人数

### ローリングストック法



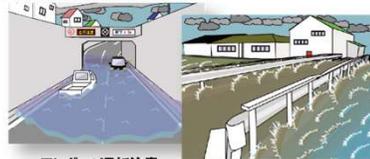
普段から食料を少し多めに購入し、消費期限が近いものから消費し、また買い足して備蓄する方法

### 洪水ハザードマップを使ってみましょう



- ① 地図を使って避難所までの避難経路を複数決めておきましょう。
- ② なるべく土砂災害や浸水する経路は避けないようにしましょう。
- ③ 避難所までの避難経路を実際に歩きましょう。

### 離れた危険



アンダーパスに注意

橋に注意

### 防災訓練に参加しましょう



防災訓練の様子

災害が発生した時に、速やかに避難行動ができるよう、防災訓練に参加しましょう。

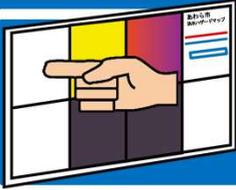
### 過去の水害を忘れない

#### 56 集中豪雨



宮谷川による洪水被害

昭和56年7月に宮谷川が氾濫し、旧金津町が甚大な被害を受けました。



# 家庭での学習～災害への心構え～



## 家庭での学習

## 災害への心構え

### 避難所等の種類

避難所等について、3つの凡例が地図に表記されています。どのような機能があるか覚えておきましょう。

凡例	種別	対象となる施設・場所	役割
	指定避難所 <small>（指定された要配慮者 指定緊急避難場所）</small>	小中学校・高等学校など	災害発生時、災害で家に戻れなくなった市民等を一時的に滞在させるための施設として指定した場所、または施設
	福祉避難所	指定された福祉施設など	要配慮者が必要な生活支援等が受けられ、安心して生活することができる設備が整っている施設
①	要配慮者 利用施設	福祉施設・小中学校・ 認定こども園など	災害発生時、支援者を必要とする人（要配慮者 <sup>※1</sup> ）が生活している施設

※1 要配慮者とは、高齢者、子供・乳幼児、妊婦、病人、外国人、身体障がい者のこと

### 家族で話し合い



家族で避難所の確認や避難の際に  
お話ししましょう。

### 非常時の持ち出し品、備蓄品を備える

災害を乗り越えるには、普段から衣類や非常食等を備えておくことが重要となります。



① 避難の際、最低3日以上の水と食料を備蓄する

### ローリングストック法



### 洪水ハザードマップを使ってみましょう

- ✓ 地図を使って避難所までの避難経路を複数決めておきましょう。
- ✓ なるべく土砂災害や浸水する経路は避けないようにしましょう。
- ✓ 避難所までの避難経路を実際に歩きましょう。

### 隠れた危険



### 防災訓練に参加しましょう



防災訓練の様子  
災害が発生した時に、速やかに避難行動ができるよう、防災訓練に参加しましょう。

### 過去の被害を忘れない



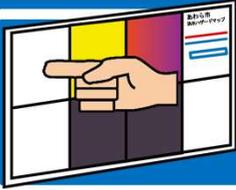
56 集中豪雨  
宮谷川による洪水被害  
昭和56年7月に宮谷川が氾濫し、旧金津町が甚大な被害を受けました。

## マップの活用を行う

- 避難経路を複数決めておく
- 災害の危険がある道は避ける
- 実際に避難経路を歩く

地図（凡例）を確認

	橋
	アンダーパス



# 家庭での学習～災害への心構え～



## 家庭での学習

## 災害への心構え

### 避難所等の種類

避難所等について、3つの凡例が地図に表記されています。どのような機能があるか覚えておきましょう。

凡例	種別	対象となる施設・場所	役割
	指定避難所 <small>(指定された避難所) 指定緊急避難場所</small>	小中学校・高等学校など	災害発生時、災害で家に戻れなくなった市民等を一時的に滞在させるための施設として指定した場所、または施設
	福祉避難所	指定された福祉施設など	要配慮者が必要な生活支援等が受けられ、安心して生活することができる設備が整っている施設
①	要配慮者 利用施設	福祉施設・小中学校・ 認定こども園など	災害発生時、支援者を必要とする人(要配慮者*)が生活している施設

\*1 要配慮者とは、高齢者、子供・乳幼児、妊婦、病人、外国人、身体障がい者のこと

### 家族で話し合い



家族で避難所の確認や避難の際に必要なことを話し合う

### 非常時の持ち出し品、備蓄品を備える

災害を乗り越えるには、普段から衣類や非常食等を備えておくことが重要となります。



① 避難の際、最低3日以上の水と食料を備蓄する  
**1人1日分の食料 × 3日以上 × 家族人数**

### ローリングストック法



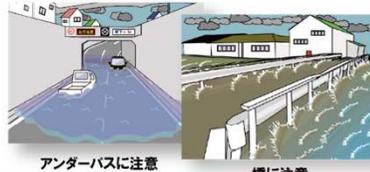
普段から食料を少し多めに購入し、消費期限が近いものから消費し、また買い足して備蓄する方法

### 洪水ハザードマップを使ってみましょう



- ① 地図を使って避難所までの避難経路を複数決めておきましょう。
- ② なるべく土砂災害や浸水する経路は避けないようにしましょう。
- ③ 避難所までの避難経路を実際に歩きましょう。

### 隠れた危険



アンダーパスに注意

橋に注意

### 防災訓練に参加しましょう



防災訓練の様子

災害が発生した時に、速やかに避難行動ができるよう、防災訓練に参加しましょう。

### 過去の水害を忘れない

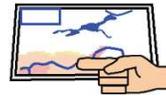


宮谷川による洪水被害

昭和56年7月に宮谷川が氾濫し、旧金津町が甚大な被害を受けました。

## 過去の水害について

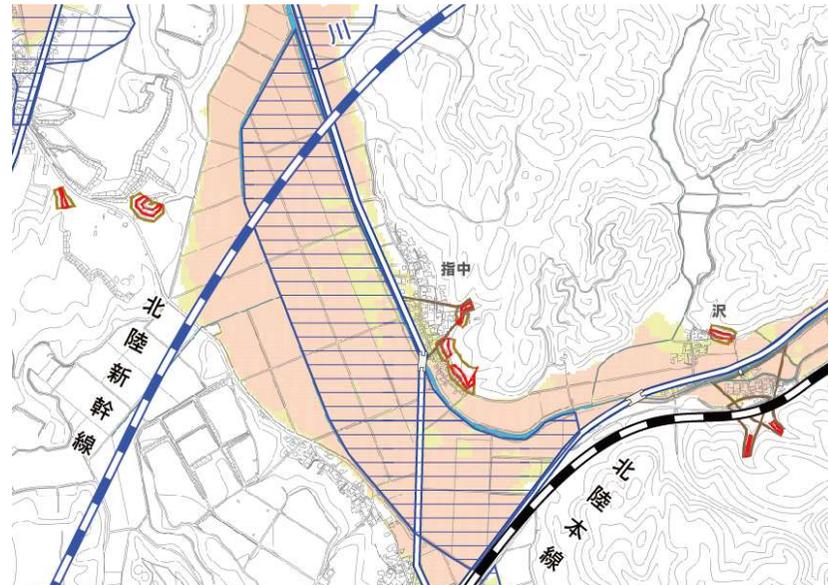
### 昭和56年に旧金津町で洪水が発生



地図(凡例)を確認



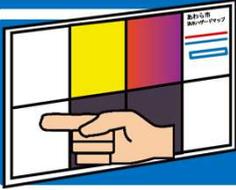
過去の浸水範囲



## ② 警戒レベル1



②			



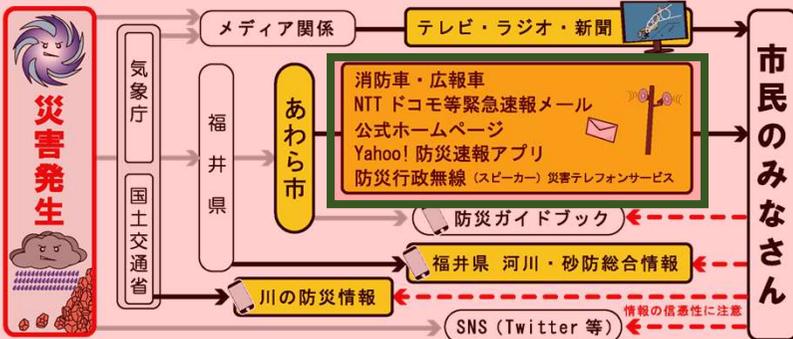
# 警戒レベル1～情報の伝わり方～



## 警戒レベル1

## 情報の伝わり方、集め方、安否の伝え方

### 情報の伝わり方



→ 伝える

← 集める

聞き逃した方はこちらで確認

0180-99-7000 (自動案内)

災害テレホンサービス

### 情報の集め方

**福井県 河川・砂防総合情報**

【確認できる情報】

- 観測情報 (水位観測等)
- 土砂災害警戒情報
- 洪水予報情報
- 気象情報

URL: <http://ame.pref.fukui.jp/>

**防災ガイドブック**

【確認できる情報】

- 地震・土砂災害編
- 津波編
- 洪水編
- 総合対策編

URL: [www.city.awara.lg.jp/](http://www.city.awara.lg.jp/)

**i-ame メール (福井県河川・砂防総合情報メール)** 携帯に登録することで、以下の危険情報をメールでお知らせします。

【お知らせがくる情報】

- 洪水予報
- 雨量警戒値等
- 土砂災害警戒情報
- 気象警報等
- 水位 (氾濫危険水位等)

QRコードを読み取って登録しましょう。

### 災害用伝言ダイヤル【171】

災害発生時、電話での連絡が取りにくくなるため、代わりに「安否確認を伝える」ことができるサービスです。災害発生時のみ利用できるサービスですが、毎月1日や15日など、体験利用できる日があります。



※固定電話などの場合は、市外局番からかける必要があります。  
※録音時間は30秒以内に限られています。伝えたい内容を整理してから録音して下さい。  
※家族内で、日ごろから録音する電話番号を決めておきましょう。

## あわら市から伝わる情報

消防車・広報車  
NTT ドコモ等緊急速報メール  
公式ホームページ  
Yahoo! 防災速報アプリ  
防災行政無線 (スピーカー) 災害テレホンサービス



**聞き逃した時は  
再度 聞き直すことができます**

**災害発生テレホンサービス**

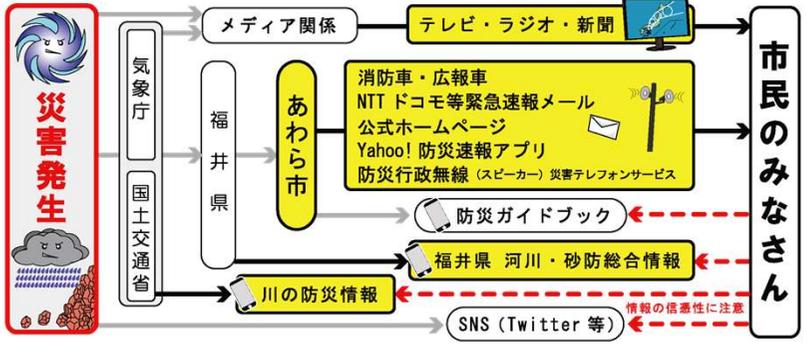
**0180-99-7000 (自動案内)**



# 警戒レベル1～情報の集め方～

## 警戒レベル1 情報の伝わり方、集め方、安否の伝え方

### 情報の伝わり方



→ 伝える ← 集める

聞き逃した方はこちらで確認 ☎ 0180-99-7000 (自動音声)

### 情報の集め方

**福井県 河川・砂防総合情報**

【確認できる情報】

- 観測情報 (水位観測等)
- 土砂災害警戒情報
- 洪水予報情報
- 気象情報

URL: <http://ame.pref.fukui.jp/>

**防災ガイドブック**

【確認できる情報】

- 地震・土砂災害編
- 津波編
- 洪水編
- 総合対策編

URL: [www.city.awara.lg.jp/](http://www.city.awara.lg.jp/)

**i-ame メール (福井県河川・砂防総合情報メール)** 携帯に登録することで、以下の危険情報をメールでお知らせします。

【お知らせがくる情報】

- 洪水予報
- 雨量警戒値等
- 土砂災害警戒情報
- 気象警報等
- 水位 (氾濫危険水位等)

QRコードを読み取って登録しましょう。

### 災害用伝言ダイヤル【171】

災害発生時、電話での連絡が取りにくくなるため、代わりに「安否確認を伝える」ことができるサービスです。災害発生時のみ利用できるサービスですが、毎月1日や15日など、体験利用できる日があります。



※固定電話などの場合は、市外局番からかける必要があります。  
※録音時間は30秒以内に限定されています。伝えたい内容を整理してから録音して下さい。  
※家族内で、日ごろから録音する電話番号を決めておきましょう。



## 福井県 河川・砂防総合情報



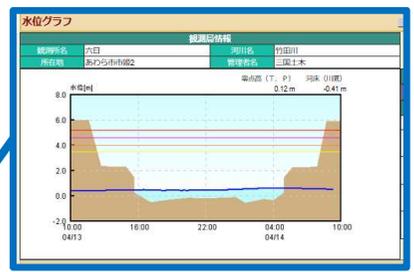
地図(凡例)を確認



雨量観測所



水位観測所



## あわら市 防災ガイドブック

複合災害に注意



## i-ameメール (福井県 河川・砂防総合情報メール)

携帯で登録



危険情報がメールで通知

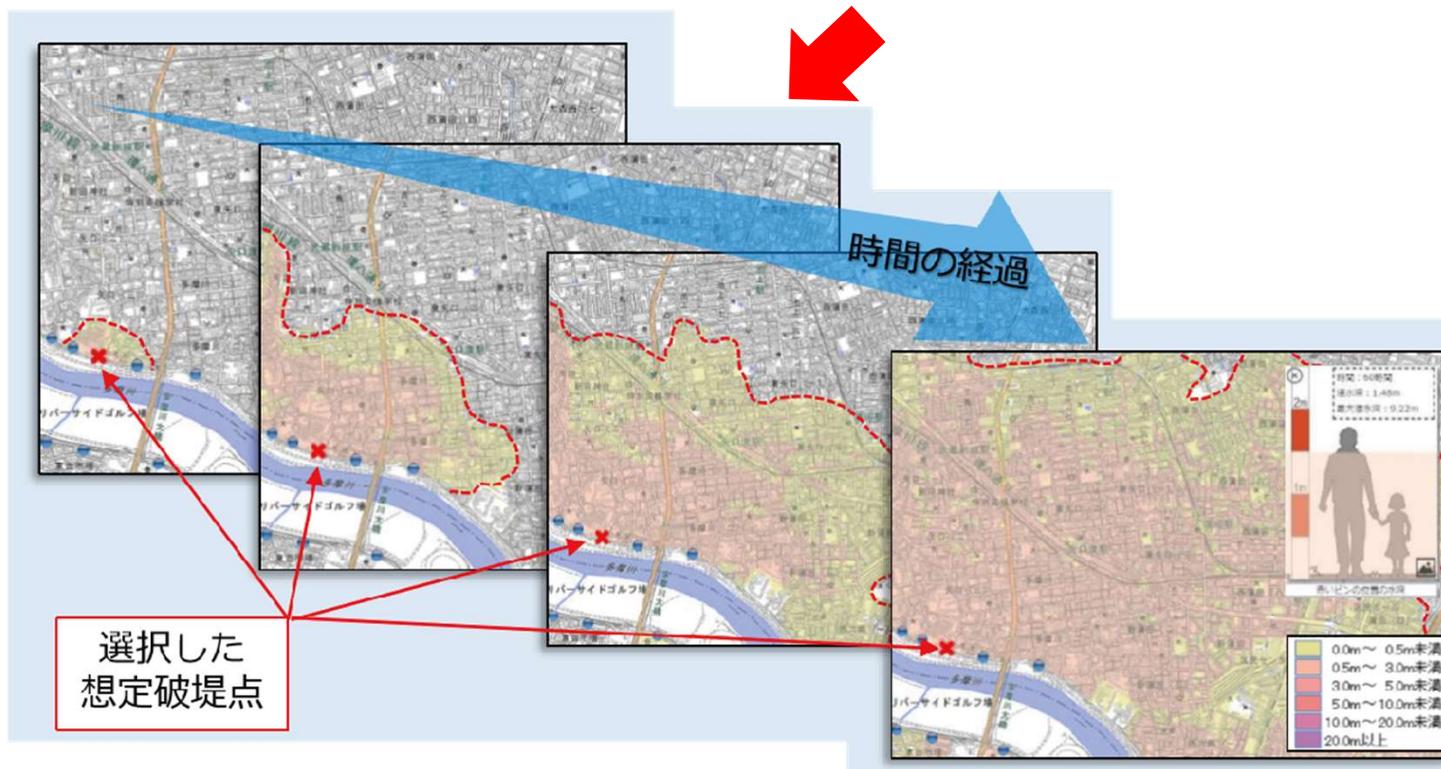
登録方法や使い方など、詳しくは「i-ameメール」で検索!

# マップ以外のこんなことも調べられます



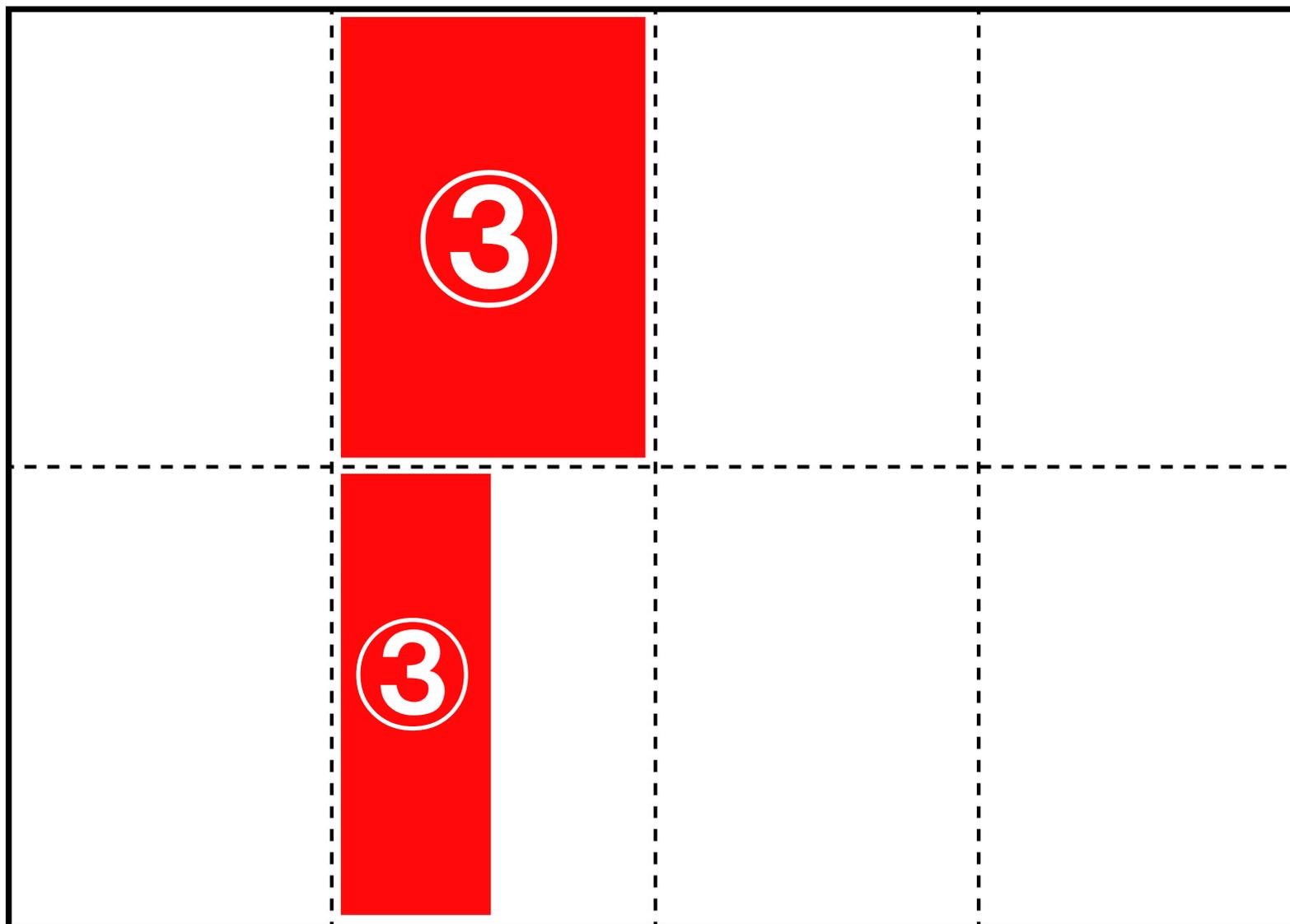
## 「地点別浸水シミュレーション検索システム」(浸水ナビ)の活用

アニメーションで水の広がり方を表示



QRコードで確認

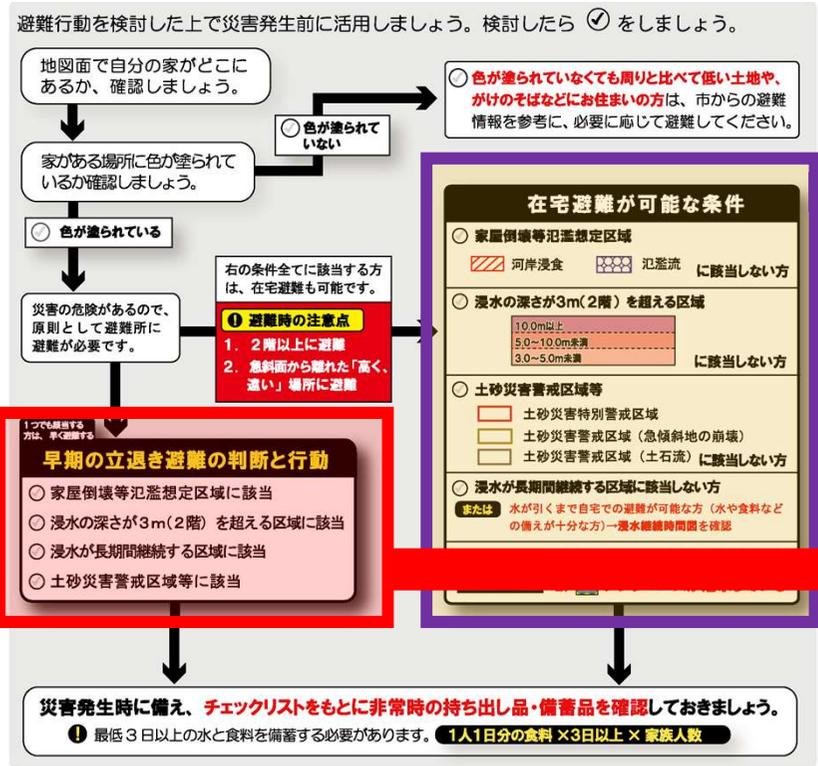
# ③ 警戒レベル2





# 警戒レベル2～避難行動の確認～

## 自分の避難行動が「はい」、「いいえ」で分かります。



**✓が4つとも該当する方  
在宅避難が可能**

**この場合は  
在宅避難**

1. 洪水氾濫がすでに発生
2. アンダーパスが冠水

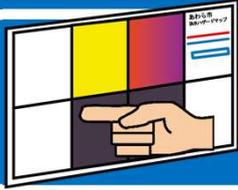
**早期の立退き避難が  
必要な区域**

**非常時の持ち出し品チェックリスト** ✎ 必要な物を記入しましょう

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> モバイルバッテリー	<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 眼鏡等	<input type="checkbox"/> 消毒液	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/> ティッシュ	<input type="checkbox"/> ハザードマップ	<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 体温計	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 衣類	<input type="checkbox"/> トイレットペーパー	<input type="checkbox"/> ポリ袋	<input type="checkbox"/> 育児用品	<input type="checkbox"/> うがい薬	<input type="checkbox"/>

**避難の際に持ち出す物の最終確認**

の所は必要な物を記入



# 早期の立退き避難が必要な区域とは？



## 早期の立退き避難が必要な区域

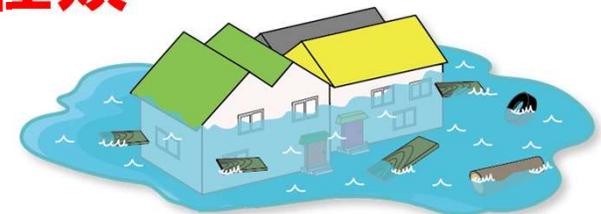
災害発生時、身体や生命に直接影響を及ぼす可能性  
がある区域

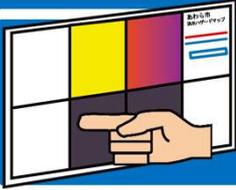


✓が1つでも該当する方は  
警戒レベル3の時に早めの避難が必要

## 早期の立ち退き避難が必要な区域の種類

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域
- ② 浸水で特に警戒が必要な区域
- ③ 土砂災害警戒区域等





# 早期の立退き避難が必要な区域①



## 早期の立退き避難が必要な区域

### 家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水発生時に家屋が流失・倒壊することが想定される区域には、「氾濫流」と「河岸浸食」の2種類があります。

#### 氾濫流



堤防の決壊による木造家屋の倒壊が発生するおそれのある区域

#### 河岸浸食



激流により河岸が削られて、家屋が倒壊するおそれのある区域

### 浸水で特に警戒が必要な区域

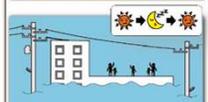
浸水の深さが3mを超える区域や、浸水継続時間が長期に及ぶ区域

#### 浸水深が3mを超える区域



浸水深が3m（建物の2階）を超えるおそれのある区域

#### 浸水継続時間が長期に及ぶ区域



水が引くまで、長期避難用から孤立する可能性がある区域

### 土砂災害警戒区域等

#### 土砂災害特別警戒区域

土砂災害による建物の崩壊などにより、生命または、身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる特に注意が必要な区域

#### 土砂災害警戒区域

大雨などで、急な斜面や谷間を流れる河川、または緩やかな台地で土砂災害が発生する区域

#### 急傾斜地の崩壊



#### 前兆現象

- 1 がけに割れ目ができる。
- 1 小石がバラバラと落ちる。

#### 土石流



#### 前兆現象

- 1 川が濁り流木が漂ぶ。
- 1 山鳴りがする。

#### 地すべり



#### 前兆現象

- 1 地面にひび割れができる。
- 1 斜面から湧水がでる。

## 家屋倒壊等氾濫想定区域

### 家屋が流されてしまうおそれがある区域

#### 氾濫流

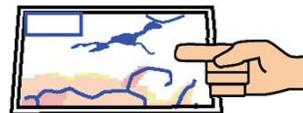
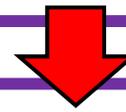


堤防の決壊による木造家屋の倒壊が発生するおそれのある区域

#### 河岸浸食



激流により河岸が削られて、家屋が倒壊するおそれのある区域

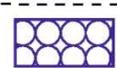


地図(凡例)を確認

### 家屋倒壊等氾濫想定区域 (詳細は裏面へ)

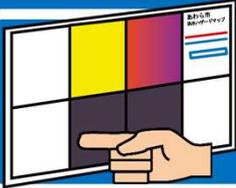


河岸浸食



氾濫流





# 早期の立退き避難が必要な区域②



## 早期の立退き避難が必要な区域

### 家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水発生時に家屋が流失・倒壊することが想定される区域には、「氾濫流」と「河岸浸食」の2種類があります。

#### 氾濫流



堤防の決壊による木造家屋の倒壊が発生するおそれのある区域

#### 河岸浸食



激流により河岸が削られて、家屋が倒壊するおそれのある区域

### 浸水で特に警戒が必要な区域

浸水の深さが3mを超える区域や、浸水継続時間が長期に及ぶ区域

#### 浸水深が3mを超える区域



浸水深が3m（建物の2階）を超えるおそれのある区域

#### 浸水継続時間が長期に及ぶ区域



水が引くまで、長期にわたって孤立する可能性がある区域

### 土砂災害警戒区域等

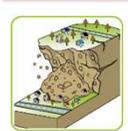
#### 土砂災害特別警戒区域

土砂災害による建物の崩壊などにより、生命または、身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる特に注意が必要な区域

#### 土砂災害警戒区域

大雨などで、急な斜面や谷間を流れる河川、または緩やかな台地で土砂災害が発生する区域

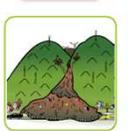
#### 急傾斜地の崩壊



#### 前兆現象

- 1 川が割れ目ができる。
- 2 小石がバラバラと落ちる。

#### 土石流



#### 前兆現象

- 1 川が濁り流木が漂ぶ。
- 2 山鳴りがする。

#### 地すべり



#### 前兆現象

- 1 地面にひび割れができる。
- 2 斜面から湧水が出る。

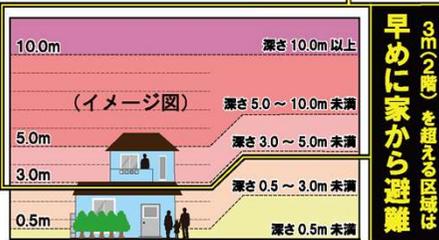
## 浸水で特に警戒が必要な区域 浸水の深さと浸水時間が長期に及ぶ区域

### 浸水深が3mを超える区域

#### 凡例

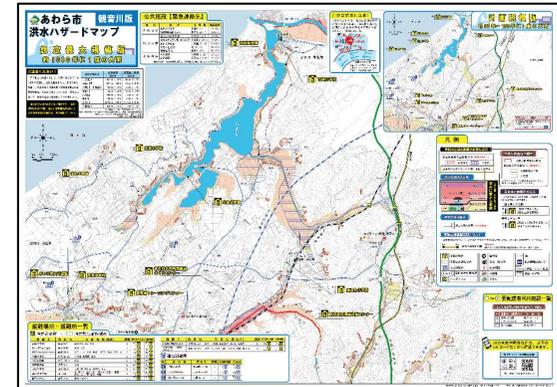
浸水深が地面から3m（2階）を超える区域

#### 浸水の深さの目安



3階（2階）を超える区域は  
早めに家から避難

### 地図で確認



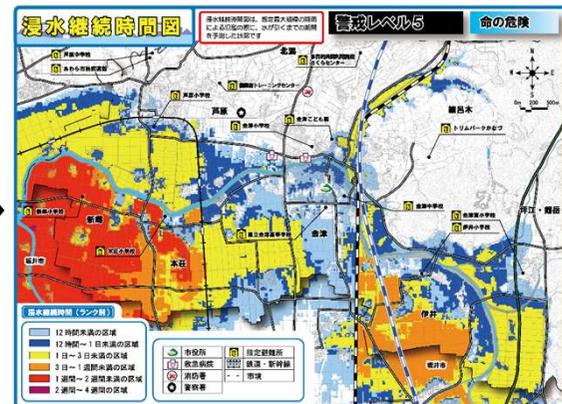
### 浸水継続時間が長期に及ぶ区域

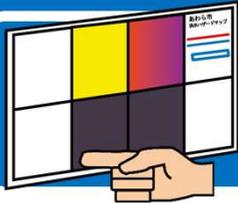
#### 凡例

#### 浸水継続時間（ランク別）

- 12時間未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 1日～3日未満の区域
- 3日～1週間未満の区域
- 1週間～2週間未満の区域
- 2週間～4週間の区域

### 水が引くまでの期間を地図で確認





# 早期の立退き避難が必要な区域③



## 早期の立退き避難が必要な区域

### 家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水発生時に家屋が流失・倒壊することが想定される区域には、「氾濫流」と「河岸浸食」の2種類があります。

#### 氾濫流



堤防の決壊による木造家屋の倒壊が発生するおそれのある区域

#### 河岸浸食



激流により河岸が削られて、家屋が倒壊するおそれのある区域

### 浸水で特に警戒が必要な区域

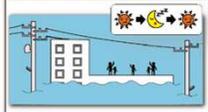
浸水の深さが3mを超える区域や、浸水継続時間が長期に及ぶ区域

#### 浸水深が3mを超える区域



浸水深が3m（建物の2階）を超えるおそれのある区域

#### 浸水継続時間が長期に及ぶ区域



水が引くまで、長期避難用から孤立する可能性がある区域

## 土砂災害警戒区域等

### 土砂災害特別警戒区域

土砂災害による建物の崩壊などにより、生命または、身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる特に注意が必要な区域

### 土砂災害警戒区域

大雨などで、急な斜面や谷間を流れる河川、または緩やかな台地で土砂災害が発生する区域

#### 急傾斜地の崩壊



#### 前兆現象

- 1 けがれに割れ目ができる。
- 1 小石がバラバラと落ちる。

#### 土石流



#### 前兆現象

- 1 川が濁り流木が漂ぶ。
- 1 山鳴りがする。

#### 地すべり



#### 前兆現象

- 1 斜面にひび割れができる。
- 1 斜面から湧水ができる。

## 土砂災害警戒区域等

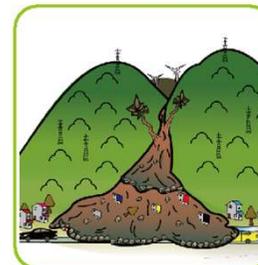
### ・土砂災害特別警戒区域

### ・土砂災害警戒区域

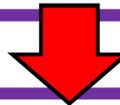
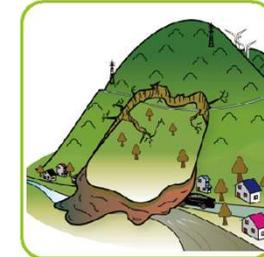
#### 急傾斜地の崩壊



#### 土石流



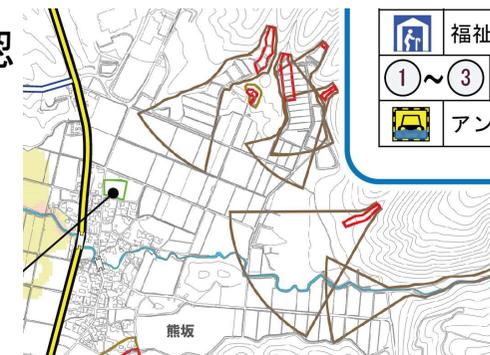
#### 地すべり



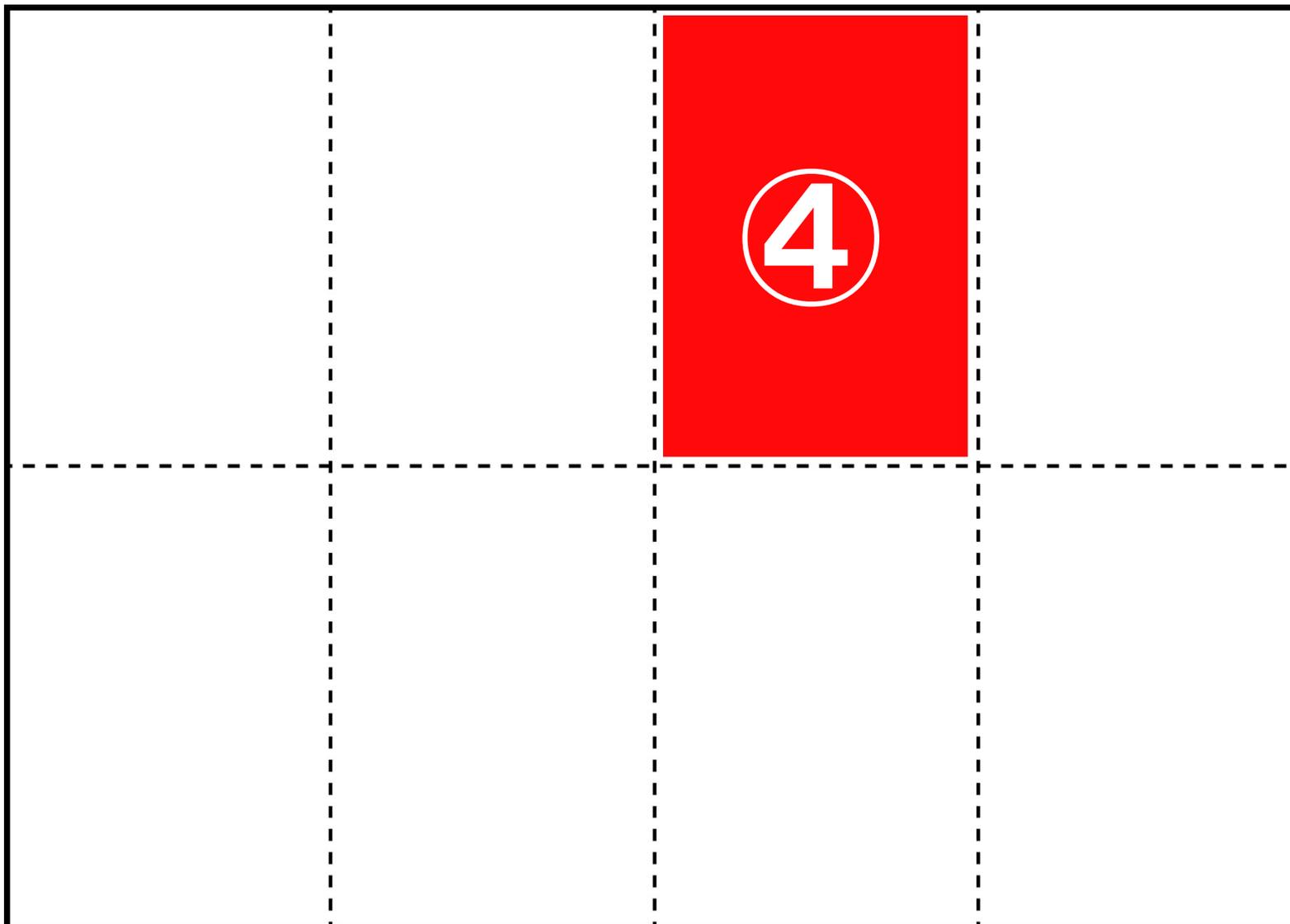
地図(凡例)を確認

	土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域 (詳細は裏面へ)	
	急傾斜地の崩壊
	土石流

あわら市では、土砂災害警戒区域のうち、地すべりは指定されていません。



# ④ 警戒レベル3～4



# 警戒レベル3～4～避難時の心得～

**避難時の心得は、3つに分類されます。**

## 避難時に注意すべきこと

<p>動きやすい服装で避難</p> <p>手の自由が利くような動きやすい服装で避難しましょう。</p>	<p>一人ひとりで避難</p> <p>避難時は、二人以上で避難することが重要です。</p>	<p>柱に掛け注意</p> <p>氾濫時は、落橋の可能性があるので渡るのを避けましょう。</p>
---	---	--

**動きやすい服装で避難**



**昨年からコロナウイルスが流行  
人が密集する避難所では、対策が必要**

対策の例) マスク、消毒液等

**避難施設の注意点: 避難所に複数の人が集まるため、感染症対策を万全にしましょう。**

## 共助の心を大切にしましょう

<p>近隣に呼びかけを</p> <p>近隣の方が迅速に避難できるように呼びかけを行きましょう。</p>	<p>要配慮者への避難支援</p> <p>要配慮者は、迅速に避難するように促す必要があります。</p>	<p>親戚・知人宅への避難も検討</p> <p>親戚や知人宅も避難場所として検討しておきましょう。</p>
---	---	---

**警戒レベル3発表時、  
要配慮者と支援者は避難が必要**

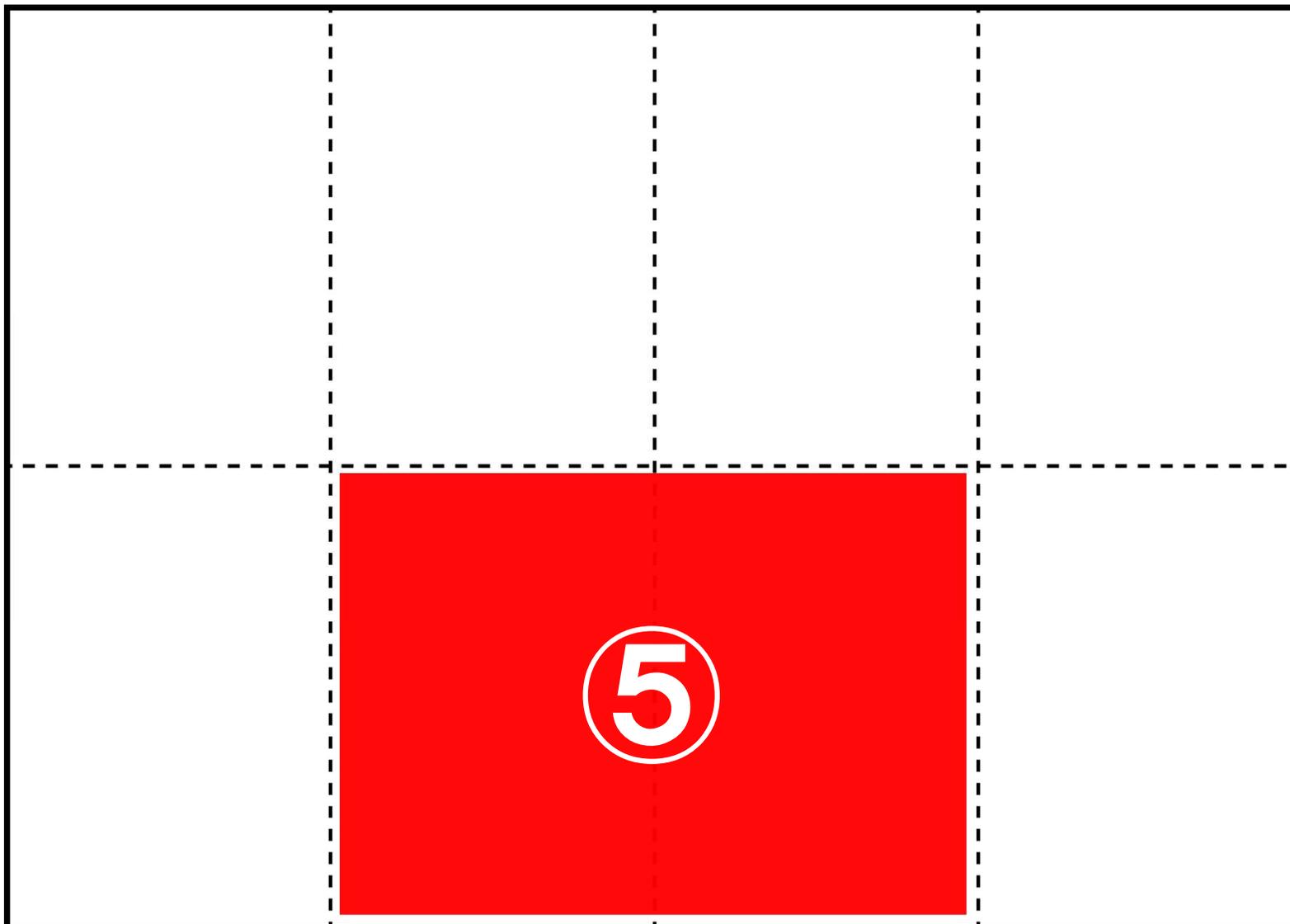
## 在宅避難の判断と対策

<p>判断の決め手</p> <p>流れが強く茶色く濁っている場合は、足元の危険が分からないため、在宅避難をしましょう。</p>	<p>水防対策</p> <p>ビニール袋と段ボールを玄関前に用意して、浸水を防ぎましょう。</p>	<p>高い建物への避難 自宅を超えて浸水する場合</p> <p>自宅周辺で、頑丈な高い建物がある場合は、高い建物へ避難しましょう。</p>
---	---	---

**洪水氾濫発生時は、在宅避難  
水嚢で水防対策**

**可能であれば高い場所へ避難**

# ⑤ 警戒レベル5

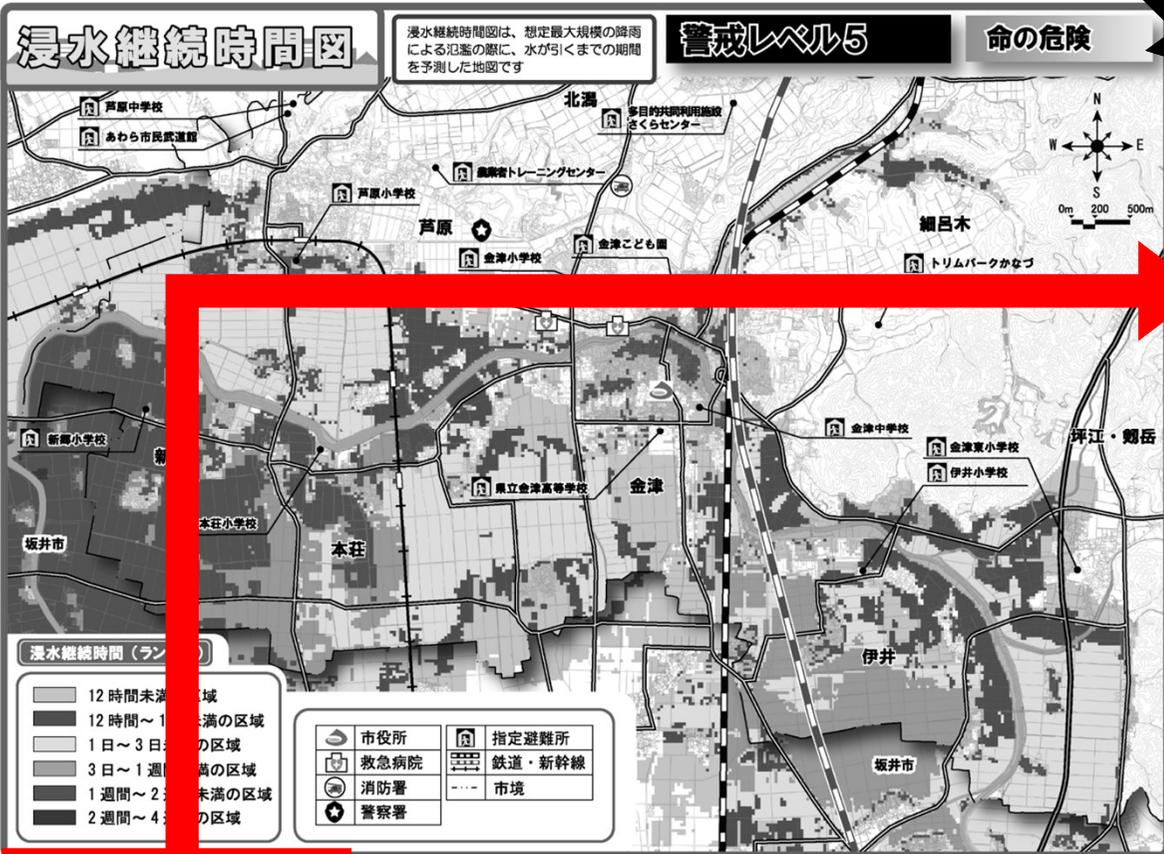


# 地域で異なる災害

## ※特に注意すべき災害（土砂災害）



**注意事項**

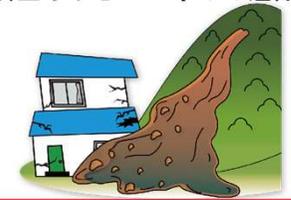


**波松、吉崎、北潟、牛ノ谷、細呂木、下金屋**

**注意点について** 波松、吉崎、北潟、牛ノ谷、細呂木、下金屋の方

浸水継続時間図の区域に該当しない方

安全なうちに「早めの避難」



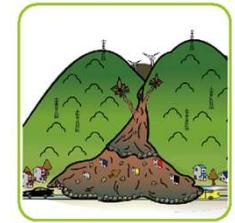
自宅裏の危険な斜面に注意しましょう。大雨が降り続く場合は、自宅裏の斜面を確認し、早めの避難を心がけましょう。



**危険**

急傾斜地の崩壊

土石流



**早めの避難**

**注意点について** 波松、吉崎、北潟、牛ノ谷、細呂木、下金屋の方

浸水継続時間図の区域に該当しない方

安全なうちに「早めの避難」

自宅裏の危険な斜面に注意しましょう。大雨が降り続く場合は、自宅裏の斜面を確認し、早めの避難を心がけましょう。

原、細呂木（宮谷）の方

浸水継続時間図の区域に該当する方

早期の立退き避難が必要

長期間浸水する区域には注意をしましょう。避難が遅れた場合、右図のような状況が発生するおそれがあるため、早めの避難を心がけましょう。

逃げ遅れに伴い長期間の在宅避難を行う際の注意点

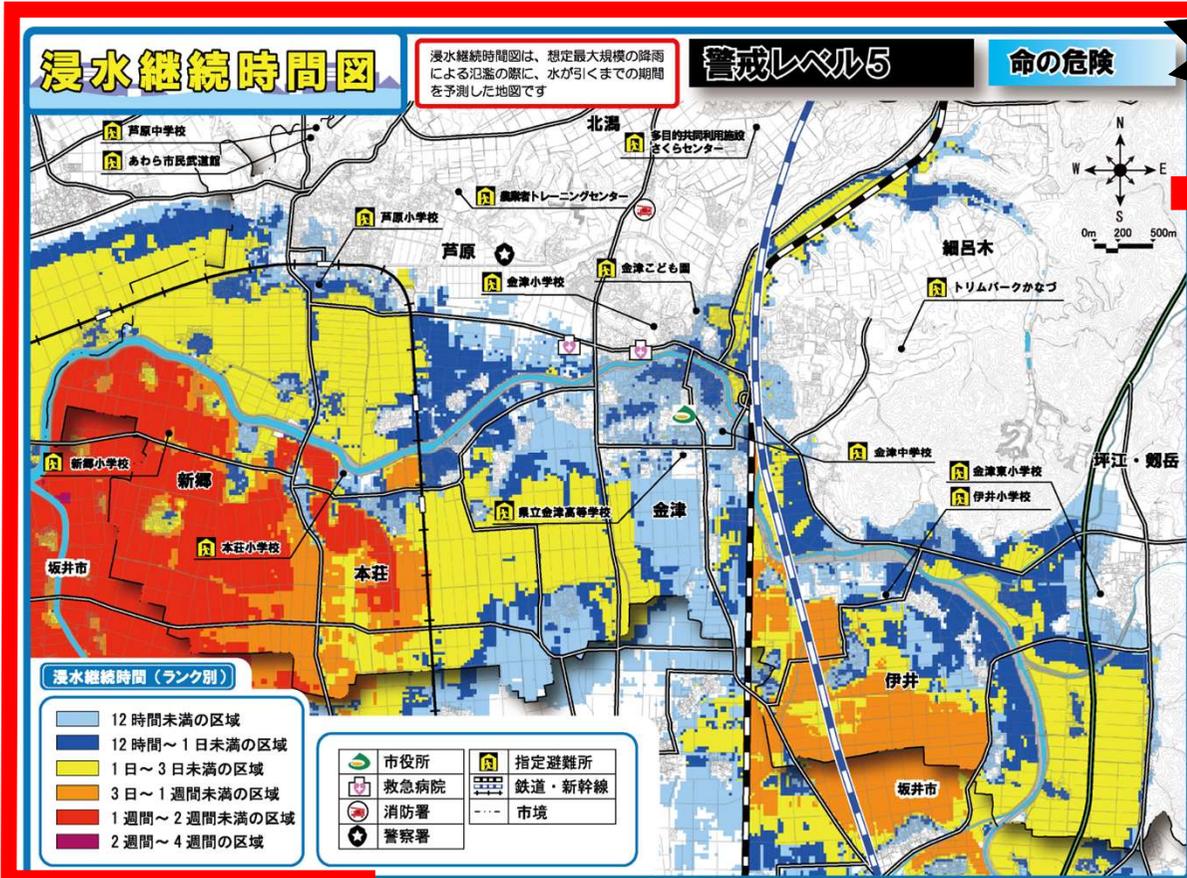
電気がつかない  
衛生環境が悪化  
食料が尽きる  
救急車が来ない  
常備薬が尽きる

# 地域で異なる災害

※早期の立退き避難が必要な災害（土砂災害）



**注意事項**



## 浸水継続時間図

浸水継続時間図は、想定最大規模の降雨による氾濫の際に、水が引くまでの期間を予測した地図です

警戒レベル5

命の危険

### 浸水継続時間（ランク別）

- 12時間未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 1日～3日未満の区域
- 3日～1週間未満の区域
- 1週間～2週間未満の区域
- 2週間～4週間の区域

- 市役所
- 指定避難所
- 救急病院
- 鉄道・新幹線
- 消防署
- 市境
- 警察署

## 芦原、細呂木(宮谷)

芦原、細呂木(宮谷)の方  
浸水継続時間図の区域に該当する方



早期の立退き避難が必要  
長期間浸水する区域には注意をしましょう。避難が遅れた場合、右図のような状況が発生するおそれがあるため、早めの避難を心がけましょう。

## 地図で凡例を確認

### 浸水継続時間（ランク別）

- 12時間未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 1日～3日未満の区域
- 3日～1週間未満の区域
- 1週間～2週間未満の区域
- 2週間～4週間の区域

**該当の方は避難**

注意点について 渡松、吉崎、北湯、牛ノ谷、細呂木、下金屋の方

浸水継続時間図の区域に該当しない方

安全なうちに「早めの避難」



自宅裏の危険な斜面に注意しましょう。雨が降り続く場合は、自宅裏の斜面を認識し、早めの避難を心がけましょう。

芦原、細呂木(宮谷)の方

浸水継続時間図の区域に該当する方

早期の立退き避難が必要



長期間浸水する区域には注意をしましょう。避難が遅れた場合、右図のような状況が発生するおそれがあるため、早めの避難を心がけましょう。

逃げ遅れに伴い長期間の在宅避難を行う際の課題点



# 地域で異なる災害

※早期の立退き避難が必要な災害（浸水継続時間）



## 長期の在宅避難を行う際の問題点

芦原、細呂木（宮谷）の方

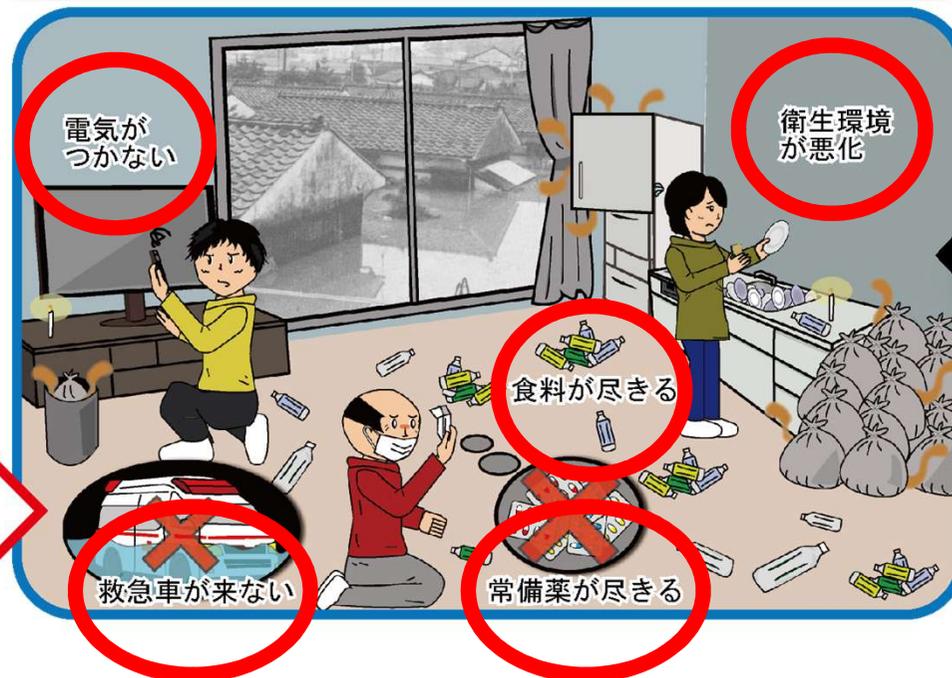
浸水継続時間図の区域に該当する方

早期の立退き避難が必要



長期間浸水する区域には注意をしましょう。  
避難が遅れた場合、右図のような状況が発生する  
おそれがあるため、早めの避難を心がけましょう。

## 逃げ遅れに伴い長期間の在宅避難を行う際の問題点



# ⑥ 警戒レベル5～最低限必要となる備蓄品～



			<b>⑥</b>

# 地域で異なる災害

※早期の立退き避難が必要な災害（浸水継続時間）



## 最低限必要となる備蓄品（7日間避難する場合の例）

### 長期間の在宅避難を行う際の問題点

自宅の周囲が浸水し長期間の在宅避難が必要となった場合、以下の問題が発生します。

#### ❗ 浸水が長期にわたる場合

- ① 備蓄した水や食料が尽きます。
- ② 衛生環境が悪化します。



#### ❗ ライフラインの停止による問題

- ③ 停電により情報収集ができません。



#### ❗ 孤立した場合

- ④ 体調を崩した場合、対応ができません。



### 最低限必要となる備蓄品

- 7日分以上の水や食料



1人1日分の食料 × 7日以上 × 家族人数

- 簡易トイレ（ビニール袋等）



- モバイルバッテリー

- ポンベ型のガスコンロ



- LED ライト（ランタン）

- 医薬品（処方薬等）



水が引くまで自宅での避難が可能な方も

**警戒レベル2の時点で備蓄品を確認**

# ⑦ マイ・タイムライン



			⑦

# マイ・タイムラインとは？



## マイ・タイムライン（別名：防災行動計画）

災害の発生が予想された際にあなたが「いつ」「何を」するかを、あらかじめ時系列で整理したものの避難行動は住民一人ひとり違うため、家族構成や生活環境に合わせて整理することが大切

災害時は急な判断が迫られ、そこでの判断を誤ることで、生死が分かれることもあります。



平常時に防災行動を決めておくことが重要

最初に関く避難所は？

そもそも避難所へ行く必要があるのか？

高齢の家族はいつ避難所へ？

何を持って避難する？



# マイ・タイムラインの作り方



警戒レベル	災害状況	① 気象庁からの避難情報 【学習面の確認事項】	市の対応	とるべき行動	我が家のすべき行動 ☑️ チェックするとともに
家庭での学習		学習面を確認 災害への心構え		災害への心構えを高める □ 洪水ハザードマップを確認する □ 災害について学習する □ 非常持ち出し品を揃える □ 備蓄用品を揃える	普段からすること □ 避難所までの避難経路を決め、歩く □ i-ame メールの登録をする □ 災害伝言ダイヤルを体験する □
1	今後、悪化する恐れ 気象状況悪化	① 早期注意情報 学習面を確認 情報の伝わり方、集め方、安否の伝え方	体制の確立	洪水ハザードマップの確認 浸水深： 自宅が「早期の立退き避難が必要な区域」に該当していますか？ □ 家屋倒壊等氾濫想定区域に該当 □ 土砂災害警戒区域等に該当 災害情報の収集	警戒レベル1ですること □ 避難場所、避難経路の再確認 □ 避難の服装準備と確認 □ 携帯等で、災害情報の確認 □ 自宅が早期の立退き避難が必要な区域に該当するか確認 □
2	気象状況悪化	① 洪水注意報 ① 大雨注意報 ① 氾濫注意情報 学習面を確認 避難行動の確認	警戒する	避難行動の確認 避難先： 避難方法： 避難に要する時間： 異変を感じたら速やかに避難	警戒レベル2ですること □ 避難行動の確認をする □ 非常時持ち出し品の確認 □ □ □ 少しでも不安な方はレベル3で避難 □ 高齢者等とその支援者はレベル3で避難
3	災害のおそれあり	① 洪水警報 ① 大雨警報 ① 氾濫警戒情報 学習面を確認 避難時の心得	高齢者等避難	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> 高齢の方、障がいのある方、妊娠中の方とその支援者は、避難をはじめましょう。 <b>避難準備を開始</b>	警戒レベル3ですること □ 要配慮者がいるため早めに避難 □ 近隣の方に声をかける □ 避難に適した服装に着替える □ □ レベル4で危険な場所から避難
4	災害のおそれ高い	① 土砂災害警戒情報 ① 氾濫危険情報 学習面を確認 避難時の心得	避難指示	<b>危険な場所から全員避難</b> 家族全員が速やかに避難所へ避難しましょう。 <b>避難完了</b>	警戒レベル4ですること □ 非常時持ち出し品を身につける □ 安全なところに避難する □ □ □ 家族全員が避難を完了する
5	災害発生又は切迫	① 大雨特別警報 ① 氾濫発生情報 学習面を確認 命の危険	緊急安全確保	命を守る最善の行動 <b>自宅にいる場合高い建物に避難</b> 逃げ遅れた場合の対策	警戒レベル5ですること □ 命の安全を確保する □ 安否確認をする <災害伝言ダイヤル> 171-1→電話番号 171-2→電話番号 □ 外に避難することは、かえって危険なため洪水の場合、自宅の2階以上に避難する

出典：「令和元年台風第19号等を踏まえた避難情報及び氾濫避難等のあり方」について（最終とりまとめ）（令和2年12月）内閣府

まず、自宅やその周辺の災害リスクを知り、逃げ方を頭の中でシミュレーションする。

- ・ 自宅が浸水する
- ・ 避難所まで遠い
- ・ 避難経路に危険が多い

例えば…

など…

自宅が2階以上まで浸水する→避難所への避難が必要

避難する途中で土砂災害の危険→迂回路が必要

高齢家族が在宅→避難時間を要確認

# 調べた結果や考えを書き込む



警戒レベル	災害状況	① 気象庁からの避難情報 【学習面の確認事項】	市の対応	とるべき行動	我が家のすべき行動 ☑ チェックするとともに 我が家オリジナルの行動を考えましょう
家庭での学習 1	今後、気象状況悪化する恐れ	① 気象庁からの避難情報 学習面を確認 災害への心構え	—	災害への心構えを高める ☐ 洪水ハザードマップを確認する ☐ 災害について学習する ☐ 非常持ち出し品を揃える ☐ 備蓄用品を確認する	普段からすること ☐ 避難所までの避難経路を決め、歩く ☐ i-ame メールの登録をする ☐ 災害伝言ダイヤルを体験する
		① 早期注意情報 学習面を確認 情報の伝わり方、集め方、安否の伝え方	体制の確立	洪水ハザードマップの確認 浸水深： 自宅が「早期の立退きが必要となる区域」に該当していますか？ ☐ 家屋倒壊等危険区域等に該当 ☐ 土砂災害警戒区域等に該当 災害情報の収集	警戒レベル1ですること ☐ 避難場所、避難経路の再確認 ☐ 避難の服装準備と確認 ☐ 携帯等で、災害情報の確認 ☐ 自宅が早期の立退き避難が必要な区域に該当するか確認
2	気象状況悪化	① 洪水注意報 ① 大雨注意報 ① 氾濫注意情報 学習面を確認 避難行動の確認	警戒する	避難行動の確認 避難先： 避難方法： 避難に要する時間： 異変を感じたら速やかに避難	警戒レベル2ですること ☐ 避難行動の確認をする ☐ 非常時持ち出し品の確認 ☐ 少しでも不安な方はレベル3で避難 ☐ 高齢者等とその支援者はレベル3で避難
		① 洪水警報 ① 大雨警報 ① 氾濫警戒情報 学習面を確認 避難時の心得	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 高齢の方、障がいのある方、妊娠中の方とその支援者は、避難をはじめましょう。 避難準備を開始	警戒レベル3ですること ☐ 要配慮者がいるため早めに避難 ☐ 近隣の方に声をかける
4	災害のおそれ高い	① 土砂災害警戒情報 ① 氾濫危険情報 学習面を確認 避難時の心得	避難指示	危険な場所から全員避難 家族全員が速やかに避難所へ避難しましょう。 避難完了	警戒レベル4ですること ☐ 非常時持ち出し品を身につける ☐ 安全なところに避難する ☐ 家族全員が避難を完了する
		① 大雨特別警報 ① 氾濫発生情報 学習面を確認 命の危険	緊急安全確保	命を守る最善の行動 自宅にいる場合 高い建物に避難 逃げ遅れた場合の対策	警戒レベル5ですること ☐ 命の安全を確保する ☐ 安否確認をする <災害伝言ダイヤル> 171-1-電話番号 171-2-電話番号 ☐ 外に避難することは、かえって危険なため 洪水の場合、自宅の2階以上に避難する

避難所まで歩いてみるなど  
避難行動を実践する



調べたり考えた結果を  
書き込む。

警戒レベルに合わせて  
自分に適した避難行動  
を考え、書き込む

警戒レベル3または  
警戒レベル4で

自分も含め身の周りの  
人が避難できるよう計画  
を立てる

出典：「令和元年台風第19号等を踏まえた避難情報及び広域避難等のあり方について（最終とりまとめ）」（令和2年12月）内閣府